

埼玉県泌尿器科医会
30周年記念誌
Saitama
Urologists
Association

巻頭言



泌尿器科医会が発足して30年を経ましたが、医会が行ってきた事業をまとめることで一つの区切りと考え記念誌を発刊することとしました。可能な限りの資料を集めましたが、不十分な部分は多くあるとは思いますがご容赦ください。

埼玉県医師会史によりますと、埼玉県皮膚泌尿器科医会が昭和39年埼玉県医師会の中に医学会が創設された際に結成され、皮膚科医と同一の会で続けてこられました。昭和51年頃より皮膚科泌尿器科医会の学会活動とは別に大学から県下の公立病院その他の病院に出張している泌尿器科医の勉強会が埼玉県泌尿器科集団会として年に数回開かれるようになりました。そのなかで、当時埼玉県立がんセンター泌尿器科・田利清信氏による埼玉県内のがん統計の集積が中心的な役割を果たしていました。昭和59年10月には、時代の要請により皮膚科泌尿器科医会は発展的に解消し埼玉県皮膚科医会と改称したため、県下の泌尿器科医は埼玉県医学会の分科会としての埼玉県泌尿器科医会を設立するための準備を開始しました。昭和60年9月には県医師会常任理事会で県泌尿器科医会設立準備の件が承認され、設立準備世話人会が開始されました。

第1回埼玉県泌尿器科医会は昭和61年11月29日に開かれた第9回埼玉県泌尿器科集団会と合同で開催し、会長に清水舜一氏を選出し、この時の会員数は44名でありました。設立時の役員は会長・清水舜一氏（朝霞市・朝霞中央病院）副会長・宮村隆三氏（浦和市・宮村医院）、副会長・田利清信氏（県立がんセンター）幹事・落合為吉氏（浦和市・落合医院）監事・根岸莊治氏（春日部市立病院）でした。

この頃、医会会員の中から日本泌尿器科学会東京地方会から埼玉地方会として分離独立しようとの問題が議論されるようになってきました。そして平成2年、会長の清水舜一氏、松本泰氏（当時小川赤十字病院）、宮村隆三氏（浦和市・宮村医院）、岡田耕市氏（当時埼玉医科大学泌尿器科教授）の四氏を分離独立の設立世話人として選出しました。平成3年の第5回埼玉県泌尿器科医会総会での議決をへて、当時の日本泌尿器科学会理事長・東京地方会会長、東京地方会運営委員会において分離独立を表明しました。平成3年12月13日本泌尿器科学会より、埼玉地方会の分離独立が承認され、平成4年6月13日埼玉県泌尿器科医会総会と日本泌尿器科学会埼玉地方会設立総会が開催され、埼玉地方会が発足しました。このような経緯もあり、埼玉県泌尿器科医会と日本泌尿器科学会・埼玉地方会とは相互に補う関係にあります。

医会の事業は（1）泌尿器科に関する学術の研究ならび統計作成資料の提供、（2）社会保険診療の調査研究、（3）会員相互連絡、親睦、（4）その他です。

医会の事業としては埼玉県医学会総会学術集会における発表と年1度の定例総会及び学術集会開催しています。

また、市民への啓蒙活動として平成5年から「県民おしっこの日」と平成9年から市民公開講座を毎年行ってきました。「県民おしっこの日」は講演、寸劇、各種相談、介護体験コーナーなど市民参加型の参加費無料のイベントでした。資金難と開催地での負担が重く中止となりましたが、いずれの取り組みも先進的な取り組みであったと考えています。市民公開講座は現在も開催しており、前立腺癌、前立腺肥大症（現在は排尿障害にテーマを変更）をテーマに、全国に先駆けて行ってきました。

次に、県下の疾病をまとめることで統計学的な意味を生かせるように傘下の多くの研究会が設立されました。研究会は埼玉県尿路悪性腫瘍研究会、埼玉泌尿器感染症研究会（埼玉泌尿器STD研究会、埼玉尿路感染症研究会が合併した）、埼玉前立腺研究会、埼玉老年・泌尿器科研究会、埼玉排尿障害セミナーが設立され各々に充実した活動を行っています。発足当時の研究会は医会主催として、日本泌尿器科学会専門医のクレジットとして統括されていましたが、時代の変遷とともに各研究会での個別のクレジット資格認定が必要となり、現在各研究会は医会との共催の形になっています。また、近年では平成20年から低侵襲手術研究会、平成23年度から前立腺ワークショップ、平成26年度からオフィスウロロジーの会など時代に則した研究会も発足しています。

現在、排尿に関しては過活動膀胱という概念が確立され、それに対する新薬が開発・使用開発されました。また、去勢抵抗性前立腺癌など新しい疾患の概念、新薬の開発・使用が開始され、また腎がんに対する分子標的薬の使用などが開始されました。手術においては腹腔鏡手術、小切開手術が開発され、普及してきましたし、ロボット支援による前立腺癌、腎がん手術開始など多くの新しい技術が導入されてきました。このように多くの新しい知識、薬剤、技術が急速に発展する中で会員相互の啓蒙活動が必要になってきました。

また、超高齢社会の中で医療・介護行政は大きく変貌してきており、排泄に係る泌尿器科医の役割は大きいものと考えています。今後の発展に30周年記念誌が寄与できるよう祈念して、はじめの言葉とします。

泌尿器科医会五代会長 **賀屋 仁**

目次

■ 巻頭言	賀屋 仁	1
■ ご祝辞		
埼玉県医師会長	金井 忠男	6
日本臨床泌尿器科医会会長	宮崎 良春	8
■ 埼玉県泌尿器科医会ニュース	11
■ 県民おしっこの日	37
■ 市民公開講座		
前立腺がん公開講座	44
前立腺肥大症公開講座	46
■ 泌尿器科医会学術集会		
泌尿器科医会総会学術集会	50
県医師会医学会総会	52

■ 研究会報告

埼玉老年・泌尿器研究会	76
埼玉県尿路悪性腫瘍研究会	80
埼玉泌尿器感染症研究会	83
埼玉前立腺研究会	86
埼玉排尿障害セミナー	91
泌尿器科低侵襲治療研究会	94
埼玉前立腺ワークショップ	96
埼玉オフィスウロロジー研究会	99

■ 会則	102
------	-----

■ 歴代会長	103
--------	-----



埼玉県医師会長 金井 忠男

埼玉県泌尿器科医会が発足30周年を迎えられました事に心からお祝いを申し上げます。埼玉県医師会に24の医会がありますが、泌尿器科医会は最も活動されている医会の一つであると認識しており敬意を表する次第です。

毎年、市民公開講座を開催されておられ、当会も後援をさせて頂いております。役員会、定例総会を開催されておられ、各種研究会も頻回に開催されておられると伺っておりました。

私が大学病院や大学からの出張先病院で勤務していた40年前頃は、泌尿器科はいわゆる総合病院にあり、泌尿器科単独標榜での診療所・病院は無かったように思われますが、現在は多くの県に泌尿科医会があり活発な活動をされておられます。中でも埼玉県泌尿器科医会の活動は非常に活発であると思いますが、現在100名を超える会員の先生方の団結と熱意によるものと考えます。

高齢化が進む中で、癌、前立腺肥大そして排尿障害などの患者さんが増加していると思います。前立腺癌は健診の普及と精度の向上により、早期治療そして治癒率が向上したのではないかと、門外漢の私などは考えています。以前は尿失禁や尿排出障害のある多くの方々は、加齢によるもので仕方がないとか、診察を受ける事に羞恥心があり受診しなかったのではないかと考えられますが、市民公開講座を受ける事により、最近の研究そして治療法を知り受診・診療をうけQOLが大きく改善しているのではないかと推察いたします。

今後の超高齢化社会を迎えるにあたって、今秋までに地域医療構想が策定されます。病床の機能分化・効率化が議論されていますが、国が最も重要視しているのは在宅医療であろうと思います。一昨年からは病床機能報告制度が始まりましたが、高度急性期や急性期の病床は減少しません。しかし今後は、重症度や病床稼働率などの制約により減少するものと思われま。そして、最後に問題になるのが慢性期医療であり、在宅医療だと思いま

す。介護療養病床、医療療養病床（25:1）は17年度末までに老健施設、医療療養施設（20:1）、有料老人ホームなどに転換し廃止する方針ですが、独居老人や認知症患者など長期療養が必要な患者さんが療養病床におり転院先等を見つける事は難しく、全てを在宅医療で対応することも困難とされています。この様な状況から厚労省は「長期医療を行う医療提供施設である医療内包型」と「医療を外から提供する住まいと医療機関の併設型」の二類型を新設すると発表しました。

しかし、2025年には介護施設は全国で43万人、東京圏だけで13万人分が不足と言われており当県では大きな問題となる事は明らかです。埼玉県医師会は県と検討を重ね、将来の地域包括ケアシステムも見据えて在宅医療の充実をはかるため在宅医療提供体制充実支援事業を開始いたしました。県の補助事業として郡市医師会が中心となって、地域包括ケアシステムが円滑に運営されるため県内63市町村に多職種連携拠点を置く事や多くの医師に在宅医療に参加いただくためのシステム構築などを行っております。

泌尿器科医会の先生方にも在宅医療に参加いただくことになると思います。限られた財源の中で必要な事とは思いますが、在宅医療に対する診療報酬上の十分な配慮は必要であり、中医協に対して要求しております。

超高齢化社会を迎え、医療供給体制は大きく変化しようとしています。泌尿器科医会の先生方には、更なるご尽力をお願い申し上げます。

埼玉県泌尿器科医会の更なる発展と会員諸先生のご健勝でのご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。



日本臨床泌尿器科医会会長 宮崎 良春

去る4月24日、仙台市にて第19回日本臨床泌尿器科医会（日臨泌）総会を開催し、私が会長として再任され、新執行部が発足したところであります。埼玉県の先生方にも、この2年間は色々と御協力をお願いする事もありますのでよろしくお願い致します。

その総会の会場にて本会理事の賀屋仁先生から埼玉県は30周年を迎え、記念誌を発行するのでお祝いの言葉をお願いしますとの依頼があり、この文章を書いております。

聞くところによりますと、昭和61年11月19日に皮膚科とは別離し、第1回埼玉県泌尿器科医会総会が開催され、会長清水舜一先生、会員数44人で発足したとのことで、更に平成4年6月に東京地方会より分離独立し、現在に至っているとの事でした。平成5年より「県民おしっこの日」平成9年より「市民公開講座」と徐々に県民に向けて開かれた医会として発展しつつあるように思います

実は私自身、日臨泌の専務理事として平成14年9月14・15日に越谷コミュニティセンターで開催された「県民おしっこの日」を見学する機会があり、寸劇などを見せて頂き大変感銘を受けた事を記憶しております。

日臨泌は埼玉県より遅れて平成9年4月27日に横浜市にて設立総会を行い初代会長として前川正信を選出しており平成10年4月11日第1回日臨泌総会を鹿児島市で開催致しました。来年平成29年6月3日（土）に東京代々木記念館で創立20周年記念講演会を予定しております。是非ご出席いただきたいと思っております。

日臨泌の目的は臨床泌尿器科学の発展と普及ならびに泌尿器科医の生涯にわたる研鑽を通じて、その診療の質と社会的評価の向上、経済的基盤の強化に寄与することとしております。具体的には①診療報酬改定への取り組み②保険診療に対する情報発信③一般日常診療の質の維持・向上と考えております。

今回の改定は本体+0.49%薬価材料価格-1.33%、ネット改定率は-0.84%で先生方の期待に添えなかった結果となりましたが、日本医師会執行部の活動を知る者として、財務省の意向等を勘案してやむを得なかったものと考えております。次回（平成30年度）は医療保険と介護保険の同時改定の年にあたります。日本泌尿器科学会は今年より内科系学会社会保険連合（内保連）に加入し、その責任者として日臨泌の増田常務理事が担当することとなりました。貴会の賀屋仁先生もその内の悪性腫瘍関連委員会にお願いしております。これで、外科系学会社会保険連合（外保連）の齊藤常務理事、日本医師会診療報酬検討委員会の清原副会長、内保連の増田常務理事とそれぞれ重要な位置に日臨泌からの役員がいますので、より情報交換ができ、一定の成果が出るのではと期待しております。最後になりますが、改めて埼玉県泌尿器科医会設立30周年に対してお祝い申し上げます。



埼玉県泌尿器科医会
ニュース

埼玉県泌尿器科 医会ニュース

第2号 1998.3 発行

発行人：松本 泰
編集人：石井 泰重
発行所：浦和市神宮3-5-1
埼玉泌尿器科医会
埼玉泌尿器科医会
TEL 048-824-2811
FAX 048-822-8515

会長挨拶

埼玉県泌尿器科医会会長 松本 泰
会員諸氏におかれましては、昨今の医療情勢の変化に振り回され、大変な毎日
でしょうが、変わらずお元気で活躍のことと思います。公的介護保険制度も
導入されることが決まり、21世紀に向けての医療体制も、これまでにない変
化が予想されます。私も今後の進路を固めない様、心して対応して行かば
ならないと思っています。
さて、当医会の昨年の事業のいくつかを振り返ってみましょう。たくさんあ
りましたし、それぞれに担当の方から報告されておりますので、
新しく始めた「市民公開講座」について、少し述べさせていただきます。
春日部市立病院院長の世原先生のご努力もあり、やっと軌道に乗りました
ばかりですが、大変な盛況でした。とてもうれしく思っております。今年5月
ごろ、熊谷市で第2回目を行う予定にしております。会員の皆様には、何かと
お手紙が届くこととなりますが、よろしくお願ひ致します。
また、本号より未弘クリニック院長の橋山先生が編集委員として参加さ
せて、ますます充実した『医会ニュース』をお届けできることになりました。
どうぞ彼の筆跡にもご期待ください。

1

第10回埼玉県泌尿器科医会定例会並びに学術講演会報告

平成9年7月9日(水)午後6時より大宮ソニックシティに於いて開催されました。
当日のプログラムは下記の通りです。あらかじめ過去5年間の尿路変遷法についてア
ンケート調査し、18施設から回答を頂きました。その結果をあわせて発表し、活発な
ディスカッションが行われました。また、特別講演の山崎章郎先生には、これから増加
すると思われる終末期医療の問題点や、癌告知の問題を含めてお話しいただき、その優し
い語り口に、30名を超える出席者は深い感銘を受けました。

- パネルディスカッション「尿路変遷法」
 - A) 尿路変遷アンケート結果 済生会川口総合病院 奥村 俊子
 - B) 尿管皮膚瘻術の適応と手技 埼玉立がんセンター 斎藤 一隆
 - C) 尿管S状結腸吻合術の合併症について 自治医大大宮医療センター 戸塚 一彦
 - D) Bani-Kock 代用膀胱の臨床的検討 済生会栗橋病院 近藤 恒徳
 - E) Hautmann 回腸新膀胱の臨床的検討 春日部市立病院 堀内 晋
- 定例会
- 特別講演 座長 埼玉立がんセンター 東 西雄
「終末期医療とホスピス」 聖日ハネ会桜町病院 ホスピス科部長 山崎 章郎
(世話人 奥村俊子)

第5回県民おしこの日

去る9月15日の敬老の日に「大宮ごろう」の12階、特別室に於いて、『県民お
しこの日』が開催されました。本年は5周年という節目であり、埼玉県看護協会の
協力を得て準備委員会看護婦が加わりとなりました。従来の相談・展示・ビデオの
各コーナーの他、在宅介護体験コーナーが設置され、介護の実演も行われました。講演
では「尿もれに困っていませんか?」というテーマで、社保・埼玉中央病院泌尿器
科部長の石井泰重先生と川口市立医療センター泌尿器科副部長の山名敏子先生にお
話をいただきました。なお、同センターの泌尿器科スタッフによる寸劇が上演され、尿
失禁のタイプが一般の方にも分かりやすく解説され、極めて好評でした。
今回は埼玉県及び、8つの市の後援をいただくことができ、広報に『県民お
しこの日』の予定が載ったおかげで、当日の相談件数も44件と多く、講演の聴衆
も椅子が見えなくなるほどの盛況でした。(世話人 木戸 晃)

2

埼玉県高齢者排尿障害セミナー

平成8年までに10回開催された本セミナーは、本年は残念ながら開催されま
せんでした。現場で活躍している人々を対象としてきましたが、内容が専門化してき
たことや組織の拡充が必要となっています。最近に関連研究会が多岐にわた
(世話人 岡田耕市)

尿路悪性腫瘍研究会

1996年登録数は1,318例で95年より44例増加した。参加施設数32
は95年と同じであった。95年悪性数は1,195例で、この数と95年1月の
埼玉県人口分布で対10万人訂正悪性数を計算した。男性腎臓2、8人、膀胱
癌8、5、前立腺癌8、9、女性膀胱癌2、8の増加が著しかった。96年は予後
調査も行い、全治癒数が、751例、その中で男性腎臓583例(94年444)、
前立腺癌1,583(94年1,117)と増加して予後改善が顕著であった。悪性
腫瘍の統計が全県になるまでと2年は本統計を続ける予定です。ご協力お願
ひします。(世話人 田利清信、東 西雄)

埼玉県ストーマリハビリテーション勉強会

平成9年は1月25日、5月17日、9月20日に与野看護協会にてストーマ
リハビリテーション勉強会が行われた。すでに7回の勉強会を行っており、講習会
では在宅介護も含めた内容や、ファントムを用いた実習を加えて、より実践的な
講習会をめざしている。なお5月に行われた学術集会では医師からの発表も多くなり
充実した内容になってきた。今後も県下のストーマケアのレベルアップと底辺の
拡大を目標としてマンネリ化しないよう内容を高めていきたい。(世話人 木戸 晃)

5

臨床研究コーナー

大宮STD研究会

厚生省はエイズ対策推進事業としてHIV疫学調査研究会を組織し、熊本
明先生をSTDグループ班長とした全国13のSTD研究会がこれに参加し、STD
症例におけるHIV及びSTD関連抗体に関する血清疫学調査を行っています。
埼玉県でも熊本先生の参加要請に応じて、大宮STD研究会を組織し、参加協力す
ることになりました。
研究の目的はSTDとして異性間感染によるAIDS/HIV感染が増加傾向
にあり、一方梅毒およびクラミジア感染症も増加傾向にある状況下において、AIDS
/HIV感染とその他のSTD感染症を分析し、AIDS/HIV感染
流行予防の基礎資料とすることにあります。平成9年8月20日大宮ソニックシティ
で熊本先生のお話しを伺い、この主旨に賛同した11施設が調査に参加協力する
ことになりました。
協力内容はSTD症例の血清サンプルを集め、研究班はクラミジア・トコプラズ
マ抗体、TPHA、HCV抗体、HIV抗体を測定し、その結果を当該施設に報告
する。HIV-1、2抗体については熊本先生の下に集積し、当該研究会には陽性
件数のみ報告する、というものです。(世話人 根岸治治)

役員会議事録

日時：平成10年1月25日(日)午後3時～
場所：浦和東武ホテル 中国料理「翠風」
議題
1. 役員改選について
末期の役員候補を再検討する。
2. 総会について
第11回埼玉県泌尿器科医会並びに学術講演会の世話人を新井洋夫先生(浦和
市)に依頼することを決定。日程は7月上旬、開催については武田薬品工業とする。
3. 第6回おしこの日について
平成10年9月15日(水)、川口のソニックシティで開催予定。第6回の幹事は石井D
rに、会費は木戸、賀屋Drと決定した。
4. 市民公開講座について
昨年11月24日大宮で開催(根岸治治先生担当)。
今年5月には熊谷市での開催を計画している。
5. 検診とPSSAについて
PSSAの希望者の医師会への提出を計画。この要望書の検討委員会を設置する
ことを決める。
6. 『医会ニュース』について
3月上旬に発行予定。会員増のため、医会ニュースを送付する際、同時に会員募
集することを決める。

6

日本臨床泌尿器科医会からの報告

ご承知のように、標榜組織が昨年4月27日の設立総会にて承認され、正式に発
足しました。現在会員数は1,485名ですが、この内県内の方は37名に上
ります。小生が埼玉県の世話人になっておりますので、何かご質問等がござい
ましたら、ご連絡ください。会長の前川正信先生(大阪)を中心に、副会長4名、6
つの委員会などで役員構成されておりますが、小生は甲信越地区より一人枠の保
険委員に選任されております。昨年11月に第1回の保険委員会を岐阜市で行いま
したが、保険に関しまして今後の方針等をお話ししました。事後承諾になりましたが、
昨年9月には、日本泌尿器科学会と共に、日本医師会会長及び厚生省の大塚と保健
医療課長宛に、実地診療医向けに考慮した要望書を提出しました。内容に関しま
しては紙面の都合上別紙に述べますが、先生方の日常診療におきまして、何か保険上の
問題がありましたら、是非小生宛にご報告ください。(世話人 松本 泰)

市民公開講座

「よくわかる前立腺がんのお話」～家族で考えるお父さんの健康～とい
うキャッチフレーズで市民公開講座が平成9年11月24日午後2時より大
宮ソニックシティ(国際会議場)において、埼玉県泌尿器科医会とゼネカ薬品
株式会社との共催で開催され、更に全国的に展開される予定です。
松本会長のご挨拶の後、県立がんセンター泌尿器科部長の東 西雄先生
の「前立腺がんの診断」次いで自治医大大宮医療センター泌尿器科部長の
戸塚一彦先生による「前立腺がんの治療」と題する講演を聞き入り、活
発な質問もなされ、今後もこのような催しを開いて欲しいという希望者が多
くの方から寄せられました。
松本会長は今後このような企画を県内各地で開催したいと熱意を述べら
れました。(世話人 根岸治治)



3

研究会報告コーナー

尿路感染症研究会

第3回埼玉県尿路感染症研究会が平成9年11月6日(木)午後7時より大宮パ
レスホテルで開催されました。今回は岡山大学泌尿器科助教授の公文裕巳先生をお招
きして、「複重性尿路感染症」と題し、主としてバイオフィルム感染についてご
講演いただきました。美しいスライドとわかりやすい内容で、大変興味深く拝聴し
ました。数年後にはまた新しい研究成果を是非お話しできたいと思ってい
ます。(世話人 奥村俊子)

神経因性膀胱セミナー

第5回神経因性膀胱セミナーが平成9年5月9日、大宮ソニックシティ
で開催され、「神経因性膀胱とウロダイナミクスに関する最近の知見」と
いう題で信州大学の西沢 理郎泌尿器科教授にお話をいただいた。NBに対する
膀胱拡張術やPressure flow study、膀胱容量を増大させるカプサイジン
膀胱注入など最近の知見を話された。懇話会でも気楽に会員と話され、西沢ファン
が増加した。今後も1回開催の予定です。(世話人 牛山武久)

STD研究会

平成9年11月28日、大宮ソニックシティ601号室にて、第8回懇話研究会が
開催されました。内容は、埼玉県泌尿器科施設のSTDの現状(平成8年)を入間
病院の宮田和豊先生がまとめて報告して下さいました。また、特別講演として、東
京大学医学部附属病院分院院長の川名 尚教授(産婦人科)がご専門の「性器ヘルペス」
をお話し下さい、参加者に深い感銘を与えられました。(世話人 松本 泰)

前立腺研究会

第2回前立腺研究会は平成10年2月6日にパレスホテル大宮で開催されました。
特別講演は、埼玉立がんセンター研究血清ウイクル部の末岡三氏に「前立
腺癌の予防にむけて」、同生化学部の江口英孝氏に「前立腺癌における遺伝子異常」
と2人の気鋭の研究者にお願いしました。また、熊谷市立病院の諸角誠人先生と熊
谷総合病院の中津裕弘先生が前立腺癌に関する演題を発表しました。(世話人 東 西雄)

4

埼玉県国保指導監査専門医になって

田利 清信
平成9年の2月に国保指導監査専門医になり、医療行政の一環に参加するようにな
りました。その経緯が常に問題になる点を記します。
① 諸病名
② 理学療法科
③ 各種指導科
④ 検査対象にはなりません。病名が多いと病院・診療所の格が問われます。②
は泌尿器科と関係ないで省略します。問題は①で、レポートに指導科を請求しま
がらカルテに記載がないと査定対象になります。厚生省、中協協がムンテラを評
価して点数を付けたと思しますので、指導内容を一言でもよいからカルテに記
載して下さい(レポートとカルテの照合は減多にありません)。

保険委員から

石井 泰重
日本泌尿器科学会・保険委員会(4月24日)では、外科系でも泌尿器科、皮膚
泌尿器科の標榜医療機関に限っての指導管理科(前立腺癌、尿管結石など)、
膀胱癌治療の点数、尿失禁ケアなどの点数算定などを要望事項とした。
算定解釈委員より、長期留置型尿管システム、イムノグラダ、ネオグミー、
ローペバ、ICTPなどの採用報告。外保連委員より、年齢、技量などにより異
なる手術点数の構想、手術料・入院料が全体として「まるめ」になる可能性など
が報告された。
保険審査委員会懇話会では、膀胱鏡検査時のHBS、HCVなどは認める。腎
臓癌では5FU、UFTは認めるが、ヒスロンは認めない。前立腺癌の多
剤薬物療法は作用機序が異なれば認める。尿管造影剤の造影剤は認めない。導尿
(尿道拡張を要するもの)50点は泌尿器科医のために点数化したもので、経過
からすると、尿道狭窄の病名がなくても認めるべきである。以上が審査委員の
多数意見であった。

7

地方会だより

新設5周年を迎えて
日本泌尿器科学会埼玉地方会会長 斎藤 博
日本泌尿器科学会埼玉地方会は5周年記念学会を平成9年11月8日に開催
致しましたところ、66人にご参加頂きました。学会に引き続き、5周年記念事
業として、初代会長・岡田耕市埼玉大教授による記念講演「Yongenetic Erectile
Dysfunctionの病態・診断・治療に関する一考察」が行われました。その後の祝
賀会は、木戸 晃先生の司会で、埼玉県泌尿器科医会会長・松本 泰先生の乾杯
の発声の後、日本泌尿器科学会理事長・河邊清月東大教授の祝辞が読み上げら
れ(代読)、次いで、清水博一、田利清信両先生の名誉会員推薦式が行われ
ました。会員の楽しい挨拶もあり、和気あいあとした5周年記念祝賀会でした。
埼玉地方会は今後、発展の一途をたどってまいりましたが、今まで何をやっ
てきたかの反省の意味を込めて、地方会の機関誌「埼玉泌尿器科」を、全国の他
の地方会に先駆けて発行しました。内容は埼玉地方会の歴史と、地方会の事業
の記録として、学会の一般講演、特別講演、共同研究報告としました。会誌は会員
に一部と、施設に一部配付しましたが、当日欠席された会員、並びに、当方の手
落ちで会誌が届いていない施設は、地方会事務局(埼玉大総合医療センター：
川越市)にご請求下さいお送りします。
ところで、5年後の10周年には、地方会はどうなっているとお考えですか?
皆さんの力で、更なる発展が期待されます。

人事往來

埼玉県に赴任して
北里研究所 副所長
北里研究所メディカルセンター一病院長 小 柴 健
平成7年11月に北本市にある北里研究所メディカルセンター一病院長に赴任してか
ら、早2年が経った。目下ところは北里大学医学部泌尿器科を兼任してある
ので、院長としての管理業務で手一杯であるが、平成10年3月で大学のほう
になるため、その4月から北里泌尿器科の副所長に、より時間がさけるよう
になると思っている。
当院は、平成9年10月1日付で100床の増床が認可され、差し当たって50
床増の350床で稼働しているが、近い将来のうちに行政・医師会双方の要望を
入れて残りの50床分をもって開放型病棟を開設する方向で検討を進めている。

8

私の診察室 (連載)

埼玉医科大学 同田 耕市
特に特色はありません。泌尿器科全般を対象としています。週3回・水・金の日と夜を午前8時15分から11時まで受け付けています。

告知板

第11回埼玉県泌尿器科医会総会並びに学術講演会
日時：平成10年7月2日(木) 19:30~(予定)
場所：浦和東武ホテル
議事：1)平成9年度事業報告
2)平成9年度収支決算に關し承認を求めの件

埼玉県泌尿器科医会ニュース

第3号 1999.3 発行
発行人：松本 泰
編集人：石井 泰憲
編集：堀山 弘之
発行所：浦和市神宮3-5-1
埼玉県泌尿器科医会
埼玉県会館内
TEL 048-824-2611
FAX 048-822-8515

会長挨拶

埼玉県泌尿器科医会会長 松本 泰
会員の皆様には元気で新春を迎えられたこと存じます。21世紀を目前に迎えた今日、医療界にも新たな表裏が押寄せて来ております。

第11回埼玉県泌尿器科医会定例総会並びに学術講演会報告

第11回定例総会及び学術講演会は平成10年7月2日(木)午後6時30分より浦和東武ホテルに於いて開催されました。定例総会においては、平成9年度の事業報告、役員改選、会則改正等の議事がすめられ、本年度より年会費¥3,000円の値上げも承認され滞りなく終了した。

第6回県民おしこの日

平成10年9月15日の敬老の日(日)に川口総合文化センター(通称リリア)一階展示ホールにおいて、『県民おしこの日』が開催されました。今回は会場が大宮から川口へ移動し、会場が広くなり、無料相談、展示、ビデオ、在宅介護体験コーナーなどに十分スペースがとれ充実しました。

『慢性前立腺炎の診断と治療』アンケート集計報告

埼玉尿路感染症研究会の共同研究でありました標記のアンケート集計の報告が埼玉医会雑誌に掲載されました。別冊をご希望の方は国立西埼玉中央病院の木戸までご連絡願います。

『尿失禁の診断と治療』ビデオについて

『尿失禁の診断と治療』(監修：石井泰憲)ビデオが完成しました。一般開業医向けの非売品のビデオです。ご覧になりたい方は、大興薬品工業(株)大宮支店(Tel.048-721-4527)までご連絡下さい。

※告知板に掲載したいことがありましたら、お気軽に当会事務局FAXにてお知らせ下さい。(FAX048-822-8515)

研究会・参加証の学会認定(2点)発行について

埼玉県泌尿器科医会関連の研究会、セミナー、勉強会などの研究会への参加は日本泌尿器科学会埼玉地方会に出席した場合と同様に日本泌尿器科学会により認定されています。参加証の獲得点数は2点です。専門医あるいは指導医の認定、更新時に役立ちますので、保管しておいてください。

Table with 2 columns: Position (会長, 幹事, 副会長, 副幹事, 監事) and Name (松本泰, 石井泰憲, 宮村隆三, 新井律夫, 田利清信, 根岸壮治, 水戸晃)

こちら編集局

昨年3月に準備不足のまま、医会ニュースを発行したが、今回は松本会長の指示のもと、編集委員会 石井(委員長)、堀山(専任)、松本、田利、宮村、根岸、水戸、新井、丸橋(事務局)で審議され、充実してきたと思う。依頼した会員には忙しい中、快く原稿を書いていただき感謝しています。

日本臨床泌尿器科医会からの報告

平成10年4月11日、鹿児島で第1回日本臨床泌尿器科医会総会が開催されました。小生は理事の一人として選出されましたが、その重責に心新たにしております。今後は日本臨床泌尿器科医会のために、全力投球で事に当たりたいと考えておりますので、よろしくご指導下さいます様お願い致します。

当紙面を少し載しましたので、日本臨床泌尿器科医会の活動を述べさせていただきます。主な事業は、臨床泌尿器科医として最も身近にある保険診療に關して、会員から寄せられた様々な事項をまとめまして、要領書として日本医師会会長、厚生大臣等関係機関に提出しております。

要に今年からは、埼玉県泌尿器科医会の事業に役立て、市民公開講座を開催することになりました。平成11年4月10日、大宮市浦和で『前立腺肥大症』をテーマに行いますので、どうぞ皆様もご参加下さいます様、ご案内申し上げます。

またクエン酸シムルデナフィール(バイアグラ)問題に關しての情報を、迅速お知らせすると共に、未承認薬としての取扱い方を、意見書として提供したりと、時宜を得た対応を取って来ております。

詳細に關しましては、『お手元の“会報”』をお読み頂きたいと思いますが、入会をご希望な方がいらっしゃいましたら、是非小生にご連絡下さい。

市民公開講座

第2回市民公開講座『よくわかる前立腺がんのお話』— 家族で考えるお父さんの健康 — が平成10年5月31日 ホテルサンルート熊谷で泌尿器科医会とゼネカ薬品株式会社の共催で開催されました。松本 泰会長のご挨拶の後、『あなたのお父さんが前立腺がんになったとき』というビデオが上映され、根岸の司会で厚生連熊谷総合病院泌尿器科長 中津 裕俊先生が『前立腺がんって、どんな病気?』次に埼玉医科大学総合医療センター泌尿器科助教授 山田 拓己先生が『早期発見のために』最後に済生会聖路閣病院泌尿器科長 泉塚 史郎先生が『よりよい治し方』と題して講演されました。

100人の聴衆から熱心な質問があり、活気のある講演会でした。その後 角谷・安原先生の応援を得て、個別相談を受けました。(世話人 根岸壮治)

研究会報告コーナー

尿路感染症研究会

第4回埼玉県尿路感染症研究会が講師に東海大学教授 河村 信夫先生をお招きして下記のとおり開催されました。当日は、急激な寒波にみまわれ大変寒い日でしたが約30名の会員が集まりました。講演は、『尿路感染症の話題いろいろ』と題され30人以上にわたる研究の成果をお話いただきました。『男子トリコモナス症は存在するか』については、身を張って行なわれた実験結果などをふまえて興味深いお話を楽しく聞かせていただきました。

日時 1998年12月2日(木) 19:00~20:30
会場 パレスホテル大宮 3階『銀杏の間』
特別講演 『尿路感染症の話題いろいろ』
東海大学 泌尿器科学 教授 河村 信夫 (世話人 奥村 俊子)

第6回埼玉神経性膀胱セミナー

大宮パレスホテルにて平成10年5月8日、安田 健作教授(關協医大)が『膀胱機能の詳細なウロダイナミクス』について講演した。膀胱尿道の各部分をマイクロトランスジューサーを用いて圧を計り膀胱尿路・内尿道括約筋協調不全を説明された。また原因の判らない排尿障害を神経性膀胱とするは間違っていると強調した。腎臓に対する神経障害や脊髄障害、前立腺肥大症の尿意の有無など興味ある症例を示された。(世話人 牛山 武久)

S T D 研究会

11月20日にSTD研究会が開催され、宮田先生(人間病院)からの1997年度埼玉県内のSTD統計の発表と奥沢先生(前九州大学教授)の泌尿器科でのSTD感染症についての講演がありました。講演の中でも触れられましたが、来年4月より感染症に関する新法が交付され、クラミジア感染症は第4類に該当します。また東京で開催されたSTD学会で松本先生が新評議員に選任されました。(世話人 内島 豊)

第3回埼玉前立腺研究会

平成11年2月10日バレスホテル大宮にて第3回埼玉前立腺研究会がこなわれた。参加医師60余名と休日前夜にも何ら多数の出席者があり、盛り上がりのある研究会となった。一般演題と特別講演は杏林大学医学部病理学教室教授の古里...

尿路悪性腫瘍研究会

平成9年泌尿器悪性腫瘍は、1,418例(35施設)で前年より100名増加した。平成9年男子膀胱癌345例、前立腺癌444例と前立腺癌が最頻症に定着した。登録数...

昭和51年に始めた統計を本年度で中止すると発表したが、明年からは東が新患の統計をつづける予定になったので、ご期待下さい!!

埼玉県ストーマリハビリテーション勉強会

平成10年は1月24日、5月23日、9月26日と3回の看護協会にてストーマリハビリテーション勉強会が行われた。すでに10回の勉強会を行っており、講習会では短い時間にも関わらず充実した内容になっている。なお5月に行われた学術集会が全国的にその存在をアピールすることができた。なお平成11年5月22日の勉強会は...

臨床研究コーナー

大宮STD研究会

厚生省日V疫学研究会STDグループの一つとして、1997年1月から県内14施設のご協力を得て発症した大宮STD研究会は、約2年間で704例を越える貴重な症例を...

役員会議事録

日時：平成11年2月18日(日) 午後1時～
場所：浦和東武ホテル 万葉の間(4階)
議題
1. 総会について
第12回埼玉泌尿器科医会総会並びに学術講演会の世話人を橋山 弘之先生に依頼する。...

春日部市立病院 根岸 荘 治

昭和44年1月から春日部市立病院で診療に携わりようになり丁度30年になります。当初の診療圏は春日部市周辺だけでなく県内にもより東京を含めた近畿に及びました。...

春日部中央総合病院泌尿器科 柳沢 良三

前任の広瀬 欽次郎先生の定年退職のため、平成10年1月より、春日部中央総合病院泌尿器科に兼任いたしました。埼玉県は昭和54年に社会保険埼玉中央病院に1年勤務以来...



私の診察室 (連載)

埼玉医科大学総合医療センター 斎藤 博
患者さんから診療の要請があったら、「誰もやることはない」として、「誰もやらない」として...

埼玉県済生会東埼玉病院 鬼塚 史朗
当院は、埼玉県北西部にある栗橋町に平成元年7月1日に開院した比較的新しい病院です。...

埼玉県厚生連熊谷総合病院 中津 裕 臣
JR高崎線熊谷駅から1Km北東にある当院は322床の中規模病院です。ここに平成3年泌尿器科が開設され常勤医1名でスタートしました。...

新井 隆 夫
昭和62年に県立小児医療センターを辞し、内科、皮膚科開業の父の新井隆夫(浦和と神町)に入り、診療室を別として泌尿器科、性病科を始めました。...

保険審査委員から

田利 清 信
昨年2月、表記専門医になり、個別指導の立会、レセプト審査専門の仕事をするようになり、保険医療の制度疲労を感じていますが、その制度をどうするかは別として、保険診療は「制限診療である」と言う事です。...

保険委員から

石井 泰 憲
日本泌尿器科学会東日本保険委員会が9月23日、前編で開催された。DRG/PPS案(包括支払い方式)が中医協で承認され、全国10病院(県内では国立埼玉病院)にて、入院医療費において包括支払い方式が実施される。...



地方会だより

日本泌尿器科学会埼玉地方会会長 斎藤 博
この度、埼玉医科大学総合病院と防衛医科大学の先生方が埼玉地方会に入会され、会員数は145名となりました。第2回埼玉地方会、新入会の埼玉医科大学の安田耕作先生による「前立腺肥大の症状・診断・治療」と、防衛医科大学の早川正道先生による「腎臓の治療と新しい診断法の試み」の特別講演もいただきました。...

人事往來

埼玉県泌尿器科地方会に参加して
防衛医科大学校 教授 早川 正道
10年ぶりに埼玉に復帰し、今年から防衛医科大学泌尿器科を主として担当させていただきます。約20年前に私が防衛医大に赴任した時は、埼玉にはまだ泌尿器科医が少なく、東京に隣接しながら医療圏とされたこの地で、はたして独立した地方会が成立し得るのか、と疑問を呈する所もありました。...

地域の総合病院へ紹介するだけで外来患者さんはおのずと感染症が増えてきます。(それもV.D.関連)、最近感じる事は前立腺癌の患者さんが増えてきている事と共に...

埼玉クリニック

私のクリニックは西川口駅前のビルにあります。8・9階は血液透析室、10階が外来診療室です。卒業後内科を研修し泌尿器科一病医、透析療法へとすすみ、腎不全には腎移植をしなければならず、東京女子医大腎センターに入局し外科を研修しました。...

告知板

- 第12回埼玉泌尿器科医会総会並びに学術講演会
日時：平成11年7月1日(木) 午後7時から【予定】
場所：未定
議事：1.平成10年度事業報告
2.平成10年度収支決算(承認)について承認を求める件
3.平成11年度事業計画(案)に関し承認を求める件
4.平成11年度収支予算(案)に関し承認を求める件
5.第6回県民泌尿器科の日(通称：おしこの日)報告
6.第7回県民泌尿器科の日(通称：おしこの日)について
7.市民公開講座について
8.その他
学術講演会：特別講演「保険診療のしくみについて」田利 清信先生
「急性期入院医療の定額支払方式(DRG/PPS)について」藤田 孝英先生
(世話人：橋山 弘之)

老年・泌尿器科研究会の発足について
介護保険が2,000年より始まります。老人および泌尿器科の知識・技術はますます注目されてくると考えられ、これからは医師だけでなく看護婦をはじめ、メディカルも含めて研鑽する必要があります。...

第7回埼玉泌尿器科の日(通称おしこの日)
日時：平成11年9月15日(木) 午前11時より
場所：川口総合文化センター(リリア)1階展示ホール
演題：演題、講演者未定
催し物：無料相談コーナー、ビデオ放映、パネル展示、在宅介護体験コーナー、介護用品展示コーナーなど
(世話人 賀屋 仁)

前立腺癌検査推進委員会の発足について

わが国でも急速に増えている前立腺癌の早期発見の重要性は私達が日々実感するところですが、幸い、前立腺癌のスクリーニングには、血液中の腫瘍マーカー（PSA）測定という簡易で有力な方法があり、集団検診や人間ドックの成績では1%前後の高い発見率が報告されています。これは、現在見直しが進んでいる老人保健法に基づく5つの癌検診に比べ一桁高い数値です。このような事実に基づいた松本会長の強い意向により、埼玉県の前立腺癌検診を進めるべく、泌尿器科医会に推進委員会が発足し、去る11月17日に打合せを行いました。当会は、自治体の基本検診にPSA測定を組み込んでもらうよう運動を進めたいと思います。このためには地域医師会への協力要請が不可欠であり、さらに二次検診にあたっては会員諸氏の力が重要です。

ぜひ、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また、この委員会に加わってご尽力頂ける方があれば大歓迎ですので、お申し出ください。

(委員長：埼玉県県立がんセンター 東 四雄)

VOICE

いよいよ日本でもバイアグラ発売です。適応性は勃起症で、診断は国際特記スコアによるようです。(IMPOTENCE 巻1号1998年6月号)。適応禁忌は血管系障害、肝臓障害、低血圧症(90以下)、高血圧症(170/90以上)、6ヶ月以内の心筋梗塞、脳梗塞、あるいは脳出血の既往のあるもの、網膜色素変性症、等です。また配合禁忌はニトログリセリン、硝酸アミド、硝酸イソソルビドです。今まで男性機能を専門としていた医師も上記のスコアにより処方することになります。会員の皆様には専門家として動向に注目して頂き、ご意見がありましたらVOICEのコーナーまでどうぞ。(橋山弘之)

埼玉県泌尿器科医会役員一覧
(任期H10.4.1~H11.3.31)

会長	松本 泰	幹事	橋山 弘之
副会長	宮村 隆三	監事	根岸 荘治
	田利 清信		木戸 晃
幹事	石井 泰恵	顧問	清水 舜一
	新井 律夫		

こちら編集局

今回で3号目の医会ニュースとなります。会長はじめ執筆いただきました諸先生方にはご多忙中快くお引き受け下さいまして誠にありがとうございました。また、泌尿器科事務局の江原さんには大変お世話になりました。最近泌尿器科で男性機能の診察をしていることを知らない人に会いました。科名を考えた方がよいのか(例文は腎臓科など)と聞いたりする今日この頃です。皆様のご意見をお待ちしております。(橋山弘之)

埼玉県泌尿器科医会ニュース

第4号 2000年3月発行
発行人：松本 泰
編集人：石井泰恵 橋山弘之
発行所：浦和市科野3-5-1 (埼玉県医師会内)
埼玉県泌尿器科医会
TEL 048 824-2611
FAX 048 822-8515



会長挨拶

埼玉県泌尿器科医会 会長 松本 泰

医療を取り巻く情勢は年々厳しさを増し、本年は4月からの介護保険の導入、そして秋には第4次医療法の改正が行われる予定で、安閑としていられない一年となりそうです。私達泌尿器科医も、この激変に逆らうことなく、時代のニーズに応えらるよう、心して対応して行かねばなりません。私共が出来ることは何か?どのように困りしらる良いのか?21世紀に向けて泌尿器科医はどうあるべきかを今年も会員の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

当医会では以前から、施設という枠に閉じこもって医療活動を行うだけでなく、外に飛び出して住民の皆様と共に、「おしっこの日」や「市民公開講座」を開催し、健康教育や啓蒙活動を実施して来ております。昨年からは、高齢化社会に対応した医療・看護・福祉を連携し得よう、医師のみならず、看護婦さんや介護関係の方々と一緒に、高齢者の社会復帰やQOLの向上に、如何に携ったら良いかを検討するために研究会を発足させ、専門職として連携し始めています。今後更に充実させて行きたいと考えています。そして介護保険下における専門医として、泌尿器科医の立場をより明確に守ってまいりたいと思っています。

本紙にも取り上げられておりますが、昨年度には住民の健康管理と疾病予防の観点から、「前立腺がん検診」の実現に向けて、おかげさまで第一歩を踏み出しました。会員の皆様には、地元医師会や行政の担当の方と連携を取り、「検診」の実現に向けて一層のご協力を切にお願ひ致します。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第4号

第12回埼玉県泌尿器科医会定例会並びに学術講演会(報告)

第12回定例会及び学術講演会は平成11年7月1日(木)午後6時30分より、浦和東武ホテル「飛鳥」の間において開催されました。定例会においては、平成10年度の事業報告、収支決算、平成11年度の事業計画、収支予算、等の議事が進められ滞りなく終了しました。

学術講演会は「保険診療」というテーマのもとに田利清信先生に、また、「急性期医療の定額払い方式(DRG/PPS)について」というテーマのもとに織田孝英先生に講演をしていただきました。

保険診療をしているわれわれにとっては今日の注目と、これからの診療のあり方を占う有意義な講演を盛りだくさん聴かせていただきました。(世話人：橋山弘之)

第7回県民おしっこの日(報告)

平成11年9月15日の敬老の日にご利用文化センター(通称リリア)1階展示ホールにおいて、「県民おしっこの日」が開催されました。川口市の開催は今年が2年目で、無料相談、展示、ビデオ、在宅介護体験コーナーなどの運営はトラブルもなくできました。講演では、済生会川口総合病院泌尿器科部長 奥村徹二先生、川口市立医療センター看護部長 山名敏子先生にお話をいただきました。

また、済生会総合病院のスタッフにより、寸劇「尿・川口家の場合」が上演されました。今回は手話通訳ボランティアの参加もあり、大変好評でした。当日は160人以上の大勢の来場者があり、また、相談件数も40件あり、大変盛況でした。

このように成功裏に終わることができたのも、当日ボランティアで参加していただいた方々のおかげです。この書面をかりて御礼を申し上げます。(賢居 仁)

日本臨床泌尿器科医会から

(日本臨床泌尿器科医会理事 松本 泰)

平成11年4月11日、大阪にて第2回総会が開催された平成10年度の事業報告、会計報告、平成11年度の事業計画、予算案が夫々承認されました。(詳細に関しては、会報第7号をご覧ください)引き続き、日本臨床泌尿器科会長の糸野英吉先生による「医療改革の動向(薬価制度を中心に)」のご講演がありまして、大変興味深く拝聴させて頂きました。

総会に先立ち、保険委員、都道府県委員会が開かれ、(1)平成12年保険改定要望事項(2)DRG/PPSの動向、(3)バイアグラ、等々につき討議しました。(詳しくは会報に掲載してあります。紙面の都合で要約を掲載できませんのでご留意ください。)

第3回の総会は、平成12年10月10日札幌にて開催されますが、会員諸氏には是非ご参加下さいませ。ご案内致します。先程述べたように、タイムリーに発行しておりますので、こちらの方も是非ご活用頂きたいと思っております。ちなみに、バイアグラの信用状況のアンケート結果は、会報第8号に掲載されています。未会員の皆様の積極的な入会を望んでおりますので、ご連絡下さい。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第4号

第3回市民公開講座(報告)

平成11年5月30日、越谷コミュニティセンター小ホールにおいて、第3回市民公開講座「よくわかる前立腺がんのお話」を開催しました。会場は階段式で座席の列の間隔もゆとりがあり、197名の参加を得たが、快過ぎず広過ぎず落ち着いた雰囲気でした。松本会長の挨拶で始まり、徳島医科大学越谷病院 北原聡史 助教授が「前立腺がんって、どんな病気?」春日部市立病院 堀内晋 部長が「早期発見のために」、越谷市立病院 諸岡誠人 部長が「前立腺がんの治し方」と講演、根岸の司会が質疑応答を行った。今回は回収した質疑用紙を司会が読み、講師が解答し、後日根岸が質問者に手紙で報告した。予定時間内に始の質問に答えられたが、反省会で生の質問も良かったのでは、との声もあった。(根岸 荘治)

前立腺癌検査推進委員会

埼玉県の前立腺癌検診を進めるべく、泌尿器科医会に推進委員会が発足してから1年以上になります。まず、自治体の基本検診にPSA測定を組み込んでもらうことをめざしています。このため、昨年11月に埼玉県医師会宛に、行政および関係方面に強く働きかけてもらいたい旨の要望書(次ページ)を提出しました。本年は、地域医師会や自治体への具体的な働きかけを始めたいと思います。このためには、会員諸氏のご協力が必要不可欠ですので、ぜひよろしくお願ひいたします。

また、この委員会でご協力頂ける方は大歓迎ですので、お申し出ください。(委員長：東 四雄)

臨床研究コーナー

埼玉STD HPV研究会

HPV感染の実態調査を1997年7月よりHybrid Capture II法によりSTD症例、CSW、妊婦につき検討中。妊娠については越谷市立病院婦人科のご協力を仰いでおります。中間報告を日本STD学会で報告しました。男子淋菌性尿道炎の41.3%にHPV感染が認められました。女子STDでは淋菌性、クラミジア性子宮頸管炎の約30%にHPV感染が認められます。注目すべきは妊婦の結果で、約10%強にHPV感染が認められることです。現在女子STDおよびCSWでの検出率が少ないので、会員の皆様のご協力をお願いします。(宮田和聡)



埼玉県泌尿器科医会ニュース第4号

平成11年11月18日

埼玉県医師会
会長 山崎 寛一郎 殿

埼玉県泌尿器科医会
会長 松本 泰
埼玉県医師会
前立腺検査推進委員会
委員長 東 四雄

要 望 書
(前立腺がん検診について)

前立腺がんは男性悪性腫瘍の最たるもので、欧米諸国ではその発生率、死亡率共に肺がんと並んで高いことをご承知の通りであります。

わが国における前立腺がんの発生頻度も、近年の社会の高齢化と経済成長に伴い、加速度的な増加をみおり、いまや前立腺がんに対する対策は世界共通の課題となつてきております。

幸い、本邦には老人保健法に基づくがん検診事業が充実しており、その有効性についての多少の議論はあるものの、早期発見・早期治療に関して、害とすることであることは言うまでもありません。

しかし残念なことに、男性生殖器についての検診は、女性に乳がん、子宮がん検診が行われているの比へ、遅れをとっているのが現状です。

ご承知のように前立腺がんのスクリーニングには、血液中の腫瘍マーカー(前立腺特異抗原：PSA)測定という簡易かつ感度・特異性とも優れた手段があり、早期がんの発見も容易になって来ております。

また治療に関しても、早期がんならば手術療法は勿論、放射線療法でも根治が可能で、進行がんであっても、ホルモン治療の進歩により、予後は良好となっております。この様に前立腺がんは、スクリーニング手段の精度が高く、しかも負担が少なく、早期がんが高率に発見され治療も確立されているという、まさしくがん検診の原則にかなった最適な疾患といえます。

本邦における前立腺がん検診、地域集団検診の広は広まってきておりますが、本県におきましては、私どもの知る限りでは飯能市、和光市、毛呂山町、日高町、越生町、小川町、都幾川町の7ヵ所しか行われておりません。

私どもが23年前より蓄積してまいりました県内の泌尿器科がんの臨床統計をみましても、前立腺がんの発生率は年々急増してきており、1996年には県内人口の対10万人当たり9.6人で、泌尿器科がんの最頻症であることが定着してきています。この事実に対して、早く何らかの対策を立てなければとの思いで一昨年度、このため埼玉県泌尿器科医会では、以下の事業に積極的に取り組んでまいりました。

埼玉泌尿器科医会ニュース第4号

- (1) 前立腺がんの発生率・罹患率の把握
- (2) 前立腺研究会を組織し、学術的探求
- (3) 県民への啓蒙と健康教育のために「前立腺がん」についての講演会
- (4) 泌尿器科の日（通称おしっこの日）を設け、泌尿器科医による無料相談

しかし、何より大切なのは、県民の方々に少なくとも前立腺がんの腫瘍マーカー（PSA）だけでも「かかりつけ医」で気軽にチェックできる体制を整えることだと考えております。以上ご期待の上、埼玉泌尿器科会におきましても、前立腺がんの早期発見のための体制を整備されるよう、行政および関係方面に強く働きかけを頂きますよう、お願い申し上げます。

(要望書以上)

研究会報告コーナー

第5回埼玉県尿路感染症研究会

第5回埼玉県尿路感染症研究会は、順天堂大学細菌学教室の平松啓一教授をお迎えして、1999年11月2日（水）パレスホテル大宮において開催されました。IVR E（パンコマイシン耐性腸球菌）感染症の現状と対策と題する、現代医療最前線の課題でしたので、泌尿器科医だけでなく、大宮近隣の内科の先生方にも声をかけし、約30名の参加を得ました。「抗生物質が効かない」という大変怖い内容ですが、わかりやすい説明に皆納得して、日本ではあまりにも多くの広域セフェム系抗生物質が使用されている現状を深く反省しつづ、和やかに終了しました。

(代表世話人：奥村俊子)

第7回埼玉神経因性膀胱セミナー

平成11年4月23日（金）、大宮パレスホテルで第7回セミナーを開催いたしましたところ、30名のご参加がありました。福島県立医科大学、山口橋 教授の特別講演「膀胱・尿失禁、改善の現状と展望」がもたれましたが、なかでも、正常者のクロダイナミックスタディは、報告があるようではないもので、医師員/学生のボランティア(?)とのことですが、興味深く拝聴させて頂きました。排尿に関する神経支配と薬理学的メカニエーターは、先生の研究の深さを感じさせる講演でした。なお、第8回埼玉神経因性膀胱セミナーは、共催会社を変えて、新しい体制で行う予定です。詳細は今この所決まっています。いづれ決まり次第、ご案内を致します。

(奇藤 博)

第10回埼玉泌尿器科STD研究会

平成11年11月26日、大宮パレスホテルで1998年の県内23施設より報告された1,158例につき集計、報告しました。結果については近日中に各施設へ送付いたします。特別講演は、性の健康医/財団、松田静彦 先生より細菌性淋病を主体にご講演いただきました。

(代表世話人：宮田和豊)



埼玉泌尿器科医会ニュース第4号

(第12回日本性感染症学会)

平成11年12月5日、東京大学で開催されました。
①埼玉県における性感染症の実態調査
②埼玉県におけるヒト乳頭腫ウイルス（HPV）感染実態調査
につき報告しました。
①は1994～1998年の埼玉泌尿器科STD研究会の調査結果について報告。②は埼玉 STD研究会で1999年7月から検討中のHPV感染中間報告です。①について、大会会長 梅内拓生 教授より、調査結果の社会への feedback はどうされているかと質問を受けました。(STD研究会代表世話人：宮田和豊)

(第8回埼玉県産婦人科医会感染症研究会)

平成11年9月25日、第8回埼玉県産婦人科医会感染症研究会が浦和市の埼玉県民健康センターで開催された。研究会代表幹事の山本勉 越谷市立病院副院長から当会STD研究会に、泌尿器科領域のクラミジア感染症についての講演依頼があり、松本会長の指名により、根岸が「泌尿器科領域におけるクラミジア感染症への感受性」と題して講演した。研究会にはSTD研究会代表世話人の 宮田和豊 先生も参加された。(根岸 壮治)

埼玉ストーマリハビリテーション勉強会

ストーマリハビリテーション勉強会は平成11年1月23日、9月25日の2回の講習会と、5月22日の研究会が行われました。講習会は、毎回定員の1.5倍の応募があり、ストーマケアに興味のある看護士を中心に毎回150名近い受講生で賑わっています。特に第13回、14回の講習会は合併症対策など、例年と異なり、受講生に問題提起するような一歩進んだ内容の講習となりました。また、12回の研究会は一般演題14題と、森田衛生大内外科 前田耕太郎 助教授による特別講演が行われ、充実した研究会でした。なお、一般演題は、ストーマリハビリテーション学会誌に掲載される事となっています。(木戸 晃)

埼玉泌尿器科医会ニュース第4号

「埼玉県を離れて」

(東京女子医大泌尿器科 免疫専門) 前任者である済生会栗原病院を離れてまだ数ヶ月しか経ちませんが、埼玉の研究会、学会に参加していた折、皆様いろいろしていただいた事を懐かしく思い出します。現在大学での私の主な仕事は、外来業務、学生指導、研究で何かしら新しい事を得ようと思っております。埼玉において良かった点は、各人が異なった大学出身でありながら、事を起そうという段になると、すぐさままとめることができるという点でした。そこには、同じ関東であるために、東京というひとつの枠の中に組み込まれてしまう個性的なメンバーを、何とかしてぬくわんとする各人の思いが込められているような気がいたしました。また皆さんと一緒に仕事ができる日々を夢見つつ、ますますの発展を応援しております。

「埼玉県を離れるにあたって」

(埼玉県厚生連熊谷総合病院泌尿器科 中津裕臣) 私が一人で熊谷に来てから8年になります。病棟ESM増人、医師増員と、毎年新たな課題と取り組むうちに、あっという間に過ぎた気がします。出身大学から遠く離れ、地域に専門医がいなくて心細い中、泌尿器科医の皆さんに温かく迎えていただき、本当に感謝しています。中でも「県民おしっこの日」は最初から声をかけていただいて、その発展が実感できる事が出来、大変印象深いものがあります。また「市民公開講座」も地域のみなさんや私自身にとって、とても勉強になりました。この度、千葉県中央病院に赴任することになりましたが、埼玉で得たものを大切にしながら、頑張っていきたいと思っております。みなさん、お世話になりました。

私の診察室

入間川病院 泌尿器科

当院は西部新宿駅山手駅より約300mの位置にあり、常勤医師数17名、病床数199床です。1988年4月より泌尿器科は開設され、1996年よりESMも施行しています。患者は近隣の所沢、入間、日高市からも受診しております。埼玉西部地区には防衛医大、国立埼玉中央病院、国立身体障害者リハビリテーションセンターと大病院がありますが、他に石心会狭山病院があるだけで泌尿器科医常勤施設はなく、多忙な日々を送っています。本曜日に埼玉医大総合医療センター、金曜日に防衛医大より応援に来てもらっていますが、常勤2名体制の方がより地域医療に貢献できると考え、理事長に要求をしております。

埼玉泌尿器科医会ニュース第4号

埼玉老年・泌尿器科研究会

平成11年7月17日、第1回研究会が大宮ソニックシティにて開催された。4月より発足する介護保険では「食事」「入浴」「移動」「排泄」が柱になるので、老年医学および泌尿器科はますます重要な研究課題になり、医療、保険、福祉の従事者が地域社会に貢献できるように、この分野の促進、知識の交流および普及を目的とした研究会である。一般演題の7題はどれも身近であるが、大変貴重で興味深い発表で、討論も活発であった。特別講演「介護の実態について」(特別講演者 老人ホーム 大塚みどり 理事長/主任介護士 内田千恵子 先生)、『古くから新しい「排泄ケア」(日本コンチネンズ協会代表世話人・看護婦 西村かおる 先生)、『古くから新しい「排泄ケア」(日本コンチネンズ協会代表世話人・看護婦 西村かおる 先生)、『前立腺肥大症の薬物療法』(福島県立医大講師・医師 横田博先生)の3題も興味深い。予選を以て200人以上の方が参加された。会場に入りきれなくなり、50脚の椅子を追加して入れたが、それでも立ち見が出るほどの盛況であった。この研究会はメディア出版の看護雑誌『ウロ・ナーシング』のフレッシュ・レポートでも取り上げられた。次回平成12年7月15日と決まり、皆様のご支援、ご協力をお願いして、今後さらに会が向上し、発展するように努力したいと思っております。(代表世話人：石井泰憲)

保険審査委員会から

「腎臓に対するUFTの使用について」 (田利清江) 腎臓はUFTの適応疾患に含まれていませんが、UFTが腎臓転移に有効な報告も多数あります。全国的にも約3割の患者が腎臓に転移を認めています。埼玉県でも平成10年11月の支払基金審査専門部会で10%の効果が無い時には認めても良いのではないかとの意見がありました。したがって、腎臓にUFTを投与する時には、必ず腎臓転移があることを記入して下さい。なお、審査員でも知らない人も多いので、腎臓転移診断名があってもUFTが否定された場合には再審査請求して下さい。予防的投与は、今まで通り不可です。(2000. 1. 15)

保険委員だより

日本泌尿器科学会・保険委員会の報告です。(石井泰憲) ①検査で、PSA (F/T比) が240点、NMP-22が血尿のスクリーニングとして240点、BTAが膀胱癌の経過観察のモニタリングとして保険請求になった。②バイアグラについては、本人の承認は現場に 任、処方目的の検査は保険不承認、保険診療と自由診療を区別すれば処方可との厚生省の回答であった。③膀胱機能検査、ESWA との使用内視鏡手術の点数加算、前立腺生検の増点を重点項目として要請する。④DWG/PPSは日大、東京医大、昭和、患医大で共同研究が実施され、検討中である。⑤日本の医療費は米国などの文明国の半分であり、安すぎることは問題である。もっと

埼玉泌尿器科医会ニュース第4号

増進して、国民により健康でよい生活を送ることができるような医療を提供すべきである。⑥介護保険の導入、高齢者の解消、急性期・慢性期病床の機能的分離、カルテの簡素化、広告の廃止、研修生の義務化など、大勢が踏まってきたようである。以上が概要です。身近な問題ですので、是非皆様のご意見などを声を大きくして主張して欲しいと念じます。

日本泌尿器科学会埼玉地方会だより

埼玉地方会の会員数は、現在、1,476名ですが、活動的な学会参加者は70名前後です。昨年度の新入会者は5名、退会者は4名でした。この度、石川(済生会栗原)、上野(埼玉医大)、内島(赤心会)、奥田(戸田中央)、橋山(永弘クリニック)、宮田(入間川)の6先生に、運営委員を依頼しました。特に、一人会員の施設と開業のせんに重点を置いて、運営委員を依頼しましたが、忙しのためか、引き受け手がなく困りました。全員参加の総会が開かれるまでは、運営委員会を中心に、埼玉地方会を運営する所存です。埼玉地方会は1992年6月13日に第1回学会が開かれ、東京地方会より正式に分離しました。それは、埼玉地方会独自の役割を果たすため、埼玉地方会はそれだけで完結した学会ではなく、埼玉泌尿器科医会、東京地方会などの関連で活動してきました。ここで言う埼玉地方会の独自の役割とは、会員による特別講演、機関紙「埼玉泌尿器科」の発行と、会員による共同研究を行うことを考えています。それは、埼玉地方会会員による他学会での特別講演の機会が少ない現在、この特別講演が、全国学会での特別講演への足がかりになればと考えたからです。全国の泌尿器科地方会で機関紙を持ったのは、埼玉地方会が初めてではないかと、多少の自負を持たれたらいいのではないでしょうか?

～人事往来～

(福協医科大学総合病棟 泌尿器科 安田耕作) 福協医科大学総合病棟泌尿器科が開設されて二年が過ぎました。一年目の開設に伴う機事はなくなり、昨年度は大学病院として当たり前の診療、研究そして教育仕事がほとんどになりました。助教授・北原聡史、助手・矢野雅隆、助手・川野圭三と私を含め、四人は固定人事でした。この四人は無気力にひたすら、診療、研究、教育の一年間でした。四人とも外国で研究発表できたのが、うれしく思われます。研修医は三月ごと本院の主任より派遣されて来ます。毎日夜八時まで病棟にへばり、研修してくれました。多くの先生方より、患者さんを紹介していただきました。ご返事を先生方との討論と思っておりますので、どうぞこれからもご指導のほどよろしくお願い致します。

埼玉泌尿器科医会ニュース第4号

告知板

第6回埼玉泌尿器科の日(通称おしっこの日)

1. 日 時：平成12年9月15日(水) 午前11時より
 2. 場 所：川口総合文化センター「リリア」1階展示ホール
 3. 講 演：演題、講演者未定
 4. 催し物：無料相談コーナー、ビデオ放映、パネル展示、在宅介護体験コーナー、介護用品展示コーナー など
- (祝屋 仁)

第4回市民公開講座

- 下記の要領で開催いたしますので、お知らせいたします。
1. 日 時：平成12年5月28日(日) 午後
 2. 場 所：所沢ミュージアム
 3. ティマ：「よくわかる前立腺がんのお話」～家族で考えよう お父さんの健康～
 4. 演 者：小島邦男 先生(防衛医科大学校) 木戸 晃 先生(国立西埼玉病院) 宮田和豊 先生(入間川病院) (50分間)
- (松本 泰)

第11回埼玉泌尿器科STD研究会

1999年、WHOがSTDのガイドラインを発表しました。そのなかでSTD⇒STI: sexually Transmitted Infection, CSF⇒femlo sex verker(or male sex verkes)などの用語も提示されています。県話人会で運営方針を決定しておりますが、症例カードの見直しも行うっておりますので、用語についても検討したいと考えております。本研究会は会員の皆様のご協力なくしては成立しませんので、1999年の集計につきよろしくお願いたします。(宮田和豊)

埼玉ストーマリハビリテーション勉強会

第15回埼玉ストーマリハビリテーション勉強会(研究発表)は、5月27日、大宮赤十字病院で開催の予定です。内容はストーマケア、スキニング、創傷ケア等に関する問題で、一般演題を募集します。または、関連した相談コーナーも設ける予定です。演題締切りは3月27日、当番世話人は大宮赤十字病院 医療社会事業部 矢野正浩 宛(☎048-852-1111、FAX048-852-3120)までお願いします。また、16回・17回の講習会は、12年9月・13年1月の予定です。詳細は決まっています。講習を希望される方は、木戸までご連絡をいただければ、追ってご連絡いたします。(木戸 晃)

埼玉泌尿器科医会ニュース第4号

埼玉県厚生連熊谷総合病院 泌尿器科

(中津裕臣) 熊谷駅から北へ約1.5kmの所に病院は位置し、近隣の行田市、書沼町など広範囲診療地域をカバーしています。平成3年の開設時は、当地域唯一の泌尿器科医でしたが、今では計5施設、当科も3人となり、県北の泌尿器科診療体制も少しずつ充実してきました。1999年は、外来患者1,518人、外来患者1日平均60人、年間入院患者数552人でした。また、手術件数は390件で、それ以外にESMが170件でした。当科の特色としては、下部尿管結石にHo-YAGレーザーを使用しており、年間約50例のTULの成績は大変良好です。これからも診療レベルの向上に努めていきたいと思っております。みなさん、これからもよろしくお願いたします。

春日部中央総合病院 泌尿器科

(橋沢良三) 当科は昭和60年に廣瀬次郎先生により開設され、平成10年より私が引き継ぎました。常勤医2名、非常勤医3名、ナースは専属、臨時者1名です。外来は月～土で、私の赴任時に泌尿器科専用超音波検査装置と尿流動態検査装置、平成10年12月より体外衝撃波碎石装置(乾式電極型)が導入されました。3DCITに続いてMRIも改修され、目標の迅速正確な診断治療の体制になりました。当院の外来、病棟ナース、検査、薬剤、X線技師さんたちは、本当に協力的で、多忙の中で患者中心の短期治療を支援していただいております。病院内は古利根川で、春には桜並木の景観が楽しめます。いつか4階泌尿器科病棟からの川岸風景を撮影したいと思っています。

永弘クリニック

(橋山弘之) 東武東上線の志木駅南口を背に、川越街道方向に5分ほどまっすぐ歩くと、商店街が続き、右手に広い駐車場があります。その駐車場に薄茶色のマッチ箱の様な建物が見えます。これが泌尿器科「永弘クリニック」です。1階で泌尿器科の診療をし、2階で泌尿器科のデパートをしています。昨年の9月に駅前のビルから引っ越ししてきました。5階から1階に降りてきて、やっとならば足がきました。外来だけですので、おのずかでおのずか制限されてしまいますが、入院しなくても診療は、できるだけやっていきたいと思います。前立腺肥大症に対しては、高温治療(オリンパス社製エンドサーム)を、女性の高血圧性尿失禁には、干渉波治療による治療をしています。医療技術は日進月歩で進んでいますので、それに遅れないよう勉強しなければと思う今日この頃です。



埼玉泌尿器科医会ニュース第4号

第2回埼玉老年泌尿器科研究会

昨年の夏に引き続き、7月15日(土)午後より、第2回研究会が大宮ソニックシティの市民ホールで開催を予定しています。今回は特別講演として熊谷市の市にある西明寺の住職で、曹洞宗の僧侶である中野正弘 和由による「医療と仏教」を予定しています。また、未定ですが、家庭看護研究所の奥田千恵子先生に講演をお願いしています。会場は昨年より広い市民ホールですので、より多くの方々の参加をお願いたします。なお、一般演題は老年と泌尿器科疾患に関する内容で募集します。担当の暇もしくは埼玉中央病院の木戸まで連絡いただければ議題の応募方法など、詳細をお知らせします。(木戸 晃)

腎移植の現状

(埼玉社会保険病院 石井泰憲) 埼玉県での1998年の腎移植は11例です。埼玉医大4例、埼玉社会保険病院3例、防衛医大2例、済生会川口病院1例、戸田中央病院1例の5施設で施行されています。生体腎移植と死体腎移植がありましたが、日本では生体腎移植が多く、死体腎移植を希望されているにもかかわらず、死体腎ドナー(提供者)が極端に少ないことが問題とされており、1998年は埼玉県では2例でした。埼玉社会保険病院では、1978年に生体腎移植を開始してから1999年までに43例の腎移植を行っています。生体腎移植では、39例中22例に、死体腎移植では4例中3例に腎臓を生かせる事ができました。腎移植では、血液透析での時間、水分、食事などの制約から開放されます。免疫抑制剤などを使用して拒絶反応を抑えて、移植した腎臓を良好に働かせることができれば、健康時と変わらない体調となり、最も望ましい治療法です。臓器移植法についての世論が盛り上がるにつれ、1991年頃より、移植希望者は死体腎移植を望むようになり、生体腎移植は減ってきています。また、死体腎移植も脳死と心臓死の臓器提供が認められていて、本人の承諾、ドナーカード、脳死判定などが不要なのに、臓器提供希望者が極端に少ないと懸念されています。現在、脳死による心臓移植、肝臓移植が目立っていますが、腎移植の希望者は15,000人以上と増加している患者数です。心臓停止後の提供も可能であることを再度アピールしていく必要があると考えています。



埼玉県泌尿器科医会ニュース第4号

パイアグラ座談会について

平成11年9月29日大宮パレスホテルにおいてパイアグラ座談会が開かれました。出席者は松本泰会長、奥田比佐志先生、奥村俊子先生、賀屋仁先生、木戸晃先生、そして橋山弘之の6名でした。パイアグラ発光後6ヶ月の地方状況や、病院のシステム、問診および検査、同意書、処方箋と費用についてなどについての幅広い意見交換がなされました。

川口医師会泌尿器科部会の設立

川口医師会は、会員数358名の大都市ですが、その中で泌尿器科医はわずか3名です。そのため泌尿器科部会の設立は、なかなか難産でした。ようやく平成11年3月19日に下条久川口医師会長、本田利博理事に介添えをいただき、8名の予定部会委員の出席で設立総会を開催。会期・役員が決定し、4月1日から正式にスタートすることができました。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第4号

VOICE

「健康さいたま」No.108、109から抜粋
A 泌尿器科の専門医が、健康さいたまの「健康さいたま」No.108、109から抜粋して、泌尿器科の専門医の立場から、市民の皆様へお話しします。

泌尿器科の専門医が、健康さいたまの「健康さいたま」No.108、109から抜粋して、泌尿器科の専門医の立場から、市民の皆様へお話しします。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第4号

・・会員表彰について

本会会長 松本泰先生が「埼玉県泌尿器科医会奨励賞」を受賞され、去る平成11年11月18日、第52回埼玉県泌尿器科医会創立記念式典で表彰されました。

- 奨励賞大表彰(支払基金功労) 田利清信
奨励賞大表彰(公衆衛生功労) 岡 宏男
奨励賞大表彰(救急医療功労) 松下 哲
満20年以上埼玉県泌尿器科医会に在籍し、満77歳に達した会員 倉澤 忠、中村 亮

来さも峠を越えそろそろ芝の上にも虫が出てきそうですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。原稿をお書きいただきました先生方、まことにありがとうございます。

Table with 2 columns: Position and Name. Includes 会長: 松本泰, 副会長: 宮村隆三, 幹事: 石井春憲, 監事: 根岸壮治.



埼玉県泌尿器科医会ニュース第4号

* お知らせ *

「専門医が答える こんなときのアドバイス」が埼玉県医師会より発行されました。この本は「健康さいたま」医療相談室のQ&Aをまとめたもので、家庭におけるホームドクターともよべる本です。



埼玉県泌尿器科医会では、医会ニュースの原稿を募集しています。研究会報告や告知類などの原稿の後、言いたいことや伝えたいことなどがございましたら、事務局までご連絡ください。

〒336-0007 浦和市神町3-5-1 (埼玉県医師会地域医療課)
埼玉県泌尿器科医会事務局
TEL 048-824-2611
FAX 048-822-8515

埼玉県泌尿器科医会ニュース第5号(おしっこの日特集号)

埼玉県泌尿器科医会ニュース

第5号 2000年12月発行
発行人: 松本泰
編集人: 石井春憲
橋山弘之
発行所: 浦和市神町3-5-1 (埼玉県医師会内)
埼玉県泌尿器科医会
TEL 048-824-2611
FAX 048-822-8515

会長挨拶

医会ニュース第5号「県民泌尿器科の日(通称:おしっこの日)特集号」発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。
思い起こせば小生が会長に就任した平成4年の春、医会委員の幾人かの方から「これからの医療は施設内にとどまって待ちの姿勢ではだめで、ひろく外に目を向け泌尿器科をアピールしなければいけない。また、高齢化社会を迎えようとしているわが国において、高齢患者さんを診る割合が多くそれに伴う排尿障害などを放つ泌尿器科の存在は今後ますます大きくなるであろう。だからこそわれわれは“場”を設けて排尿管理について住民を対象に健康教育や啓蒙活動をしていかなければならない」と力説したのを覚えています。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第5号(おしっこの日特集号)

いと考えておりますので、関係各位におかれましては、担当資料の整理を始めて頂きたいと思っております。平成15年には素晴らしい小冊子が手元に届くことを願って、そして「県民泌尿器科の日(通称:おしっこの日)」がますます発展、充実しすることをあわせ願ってご挨拶に代えます。

「おしっこの日」に思うこと

平成4年、松本会長が「新しい風は埼玉から発信したい」とのお考えで企画され、大宮の「そごう」で5回、川口の「リリア」で3回開催され、回を重ねるごとに充実してきたと思います。
ただ、活動している医師、ナースがだんだん限定されてきた横断的な気がかかりますが、今回は越谷の市民ホールでの開催なので、新たに参加して活躍していただくメンバーに期待しています。また、医師、ナース以外の医療・保健・福祉の関係者も参加してもらいやすい環境づくりも必要だと思います。

第8回県民おしっこの日 報告

去る、平成12年9月15日(敬老の日)に川口総合文化センター(通称:リリア)一階展示ホールにおいて、「県民おしっこの日」が開催されました。川口での開催は今年で3回目、当日は無料相談・介護用品展示・ビデオ放映・在宅介護体験など、各コーナーが設けられ、多くの方の関心を呼んでいました。また、衛生会川口総合病院のスタッフによる寸劇「続・川口家の場合」が上演され、スタッフの華やかなダンスが披露されました。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第5号(おしっこの日特集号)

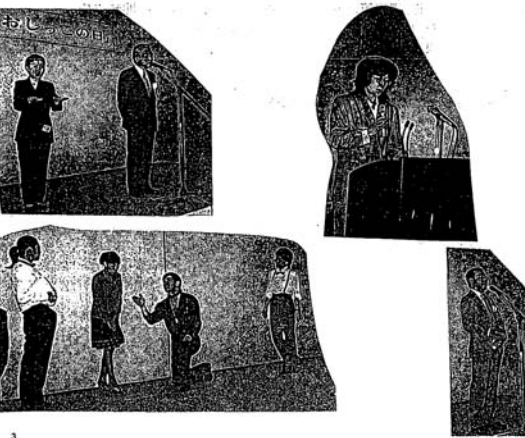
Table listing participating companies and their addresses for the 'おしっこの日' event. Includes companies like 大塚製薬, 第一製薬, 武田薬品工業, etc.

第8回「おしっこの日」アンケート報告

国立西埼玉中央病院 木戸晃
昨年アンケートを担当させて頂いています。アンケートは今年も例年と同様の内容で、ずばらを決め込んでいたが、松本会長・浦協医科大学越谷病院の安田教授より内容の不備をご指摘頂き、急遽、尿失禁と在宅介護に関するアンケートを独断で作成し、追加させて頂きました。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第5号(おしっこの日特集号)

映したのと思われず。『おしっこの日』の催しを知ったメディアとしては、昨年と全く同じ傾向で、約半数が広報誌を挙げている。参加目的では、講演の聴講を目的にこられた方が63名と最も多く昨年と同様の傾向でしたが、無料相談コーナーが23名から27名と実数でも増加した事は泌尿器科医会の地道な活動が評価されたものと思われ、喜ばしい限りです。

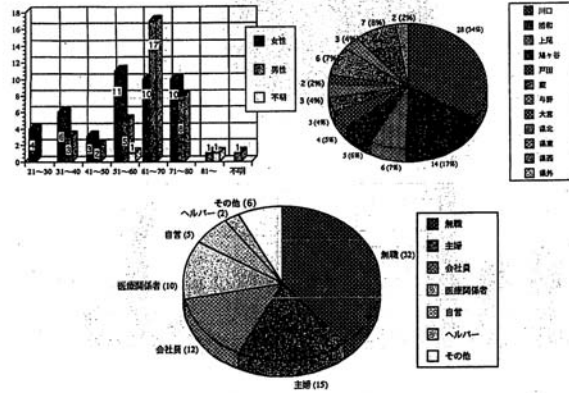


埼玉県泌尿器科医会ニュース第5号 (おしっこの日特集号)

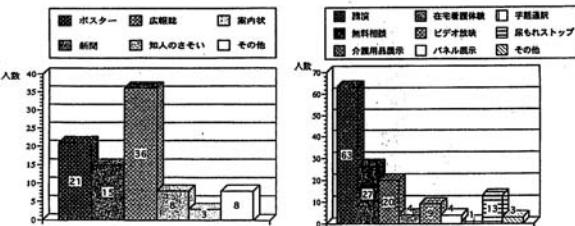
2000年『おしっこの日』アンケート結果

アンケートの回収は83名/104名(80%)でした。

(1) あなたご自身の事を教えてください。



(2) 今回の催しを何で知りましたか。

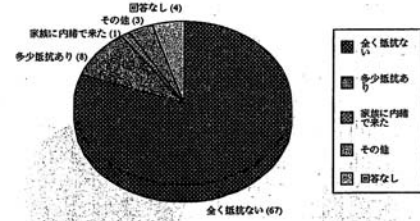


(3) 何を目的においでになりましたか。

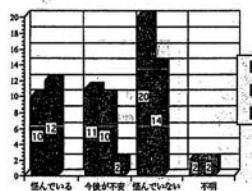


埼玉県泌尿器科医会ニュース第5号 (おしっこの日特集号)

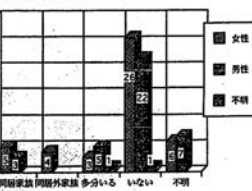
(4) この催しにおいてなるのに抵抗はありましたか。



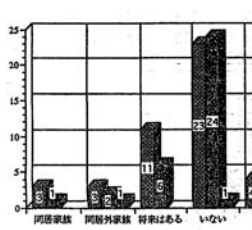
(5) ご自身、尿失禁に悩んでいますか。(経験がありますか)



ご家族に尿失禁のある方がいらっしゃいますか。



(6) 御家族に在宅介護を要する方がいらっしゃいますか。



在宅介護での不安な事、質問事項など

埼玉県泌尿器科医会ニュース第5号 (おしっこの日特集号)

第9回県民おしっこの日 (2000年9月15日)

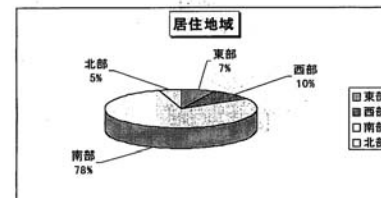
無料相談コーナー集計結果

(質問者合計: 42人)

Q1. どこから来ましたか?

(回答を県内(東西南北)、県外に分けて表しました。)

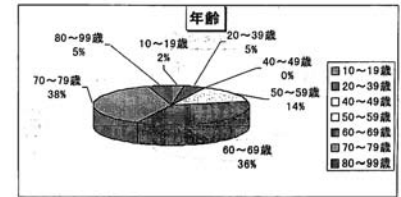
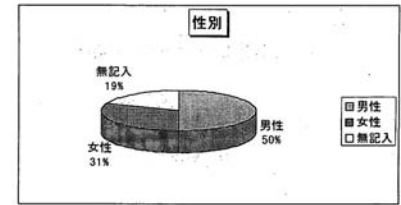
東部...3人 北部...2人 西部...4人 南部...33人 (川口・17、浦和・7、上尾・4、蕨・2、草加・2、鳩ヶ谷・1)



Q2. 性別、年齢を教えてください。

性別	人数(人)	年齢(歳)	人数(人)
男	21	10~19	1
女	13	20~29	2
無記入	8	40~49	0
		50~59	6
		60~69	15
		70~79	16
		80~89	2

埼玉県泌尿器科医会ニュース第5号 (おしっこの日特集号)



Q3. 相談は、どのような事でしょうか。(複数回答)

- 頻尿 (21)
- 尿が出にくい (7)
- 尿失禁 (4)
- 尿意感 (2)
- 尿漏れ (2)
- 前立腺肥大 (2)
- 介護疲れ (2)
- 尿道痛 (1)
- 尿道腫脹 (1)
- 蛋白尿 (1)
- 勃起障害 (1)
- 下腹部が張る (1)



埼玉県泌尿器科医会ニュース第5号 (おしっこの日特集号)

(7) 講演・寸劇の内容はいかがでしたか。(回答57名)

- 1. わかりやすかった.....43名
- 2. 大体わかったが、所々わからない事もあった.....13名
- 3. わずかしくてよく分からなかった.....0名
- 4. 別のテーマの講演が聞き良かった(見たかった).....1名 (予約)

5. その他(文字が小さい、女性の尿量についての話も聞きたい、寸劇はお年寄りには聞こえなかったのでは、おしっこ介護保険のテーマから外れている。)

(8) 相談員の対応はいかがでしたか。(回答30名)

- 1. 親切に対応してもらえて聞きたい事がよくわかった.....24名
- 2. 十分答えてもらえなかった.....4名
- 3. 相談時間を長くしてほしい.....0名
- 4. プライバシーが守れない.....0名
- 5. 待ち時間が長い.....2名
- 6. 一人だけでなく複数の意見が聞きたい.....1名

(9) 介護用品展示コーナーは参考になりましたか。(回答46名)

- 1. 利用してみたい製品があり参考になった.....37名
- 2. 目新しい製品はなかった.....3名
- 3. 似たような製品のどこが違うか詳しく知りたい.....4名 (展示品を順番に説明、実演しては?)
- 4. その他.....2名 (他店より値段が高い)

(10) 在宅看護体験コーナー・尿漏れトップコーナーはいかがでしたか。(回答32名)

- 1. 大変参考になった.....26名
- 2. 説明がよく聞けなかった.....4名
- 3. もっとスペースを取ってほしい.....2名

(11) パネル・ビデオはいかがでしたか。(回答47名)

- 1. 参考になった.....43名
- 2. もっと工夫してほしい.....5名 (パネルの体積の絵のコピーが欲しい。)

(12) 感想・希望・相談がありましたらお書きください。(回答17名)

良い話し参考になった有難うございます.....7名、他地域でも行ってほしい.....2名、会場案内が不十分.....1名、遠くへ行かないで.....1名、医療機関を教えてください.....1名、写真を撮られるのは閉口.....1名、男性の事ばかりで眠くなった.....1名、介護でおしっこと絡んでいるDrもぜひ頭張ってほしい.....1名。(重複あり)

埼玉県泌尿器科医会ニュース第5号 (おしっこの日特集号)

「健康さいたま」No.114から抜粋



おしっこの日は大切

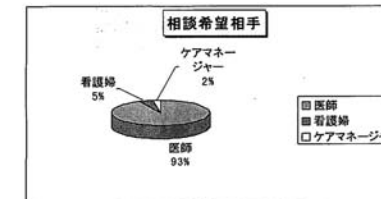
おしっこの日は、尿失禁や頻尿などの悩みを抱えている方にとって、とても大切な日です。この日には、専門医による無料相談や、介護用品の展示、在宅看護体験などの企画が行われます。ぜひこの機会に、自分の悩みを相談し、解決の糸口を見つけてください。

おしっこの日は、尿失禁や頻尿などの悩みを抱えている方にとって、とても大切な日です。この日には、専門医による無料相談や、介護用品の展示、在宅看護体験などの企画が行われます。ぜひこの機会に、自分の悩みを相談し、解決の糸口を見つけてください。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第5号 (おしっこの日特集号)

Q4. 今日、だれに相談したいですか?

医師...39人 看護婦...2人 ケアマネージャー...1人



A. 回答、指導

- 泌尿器科受診(近医)をすすめた
- 専門外来をすすめた
- かかりつけ医とよく相談するようすすめた
- 泌尿器科医療機関一覧を供覧した
- おむつ(失禁ケア)の指導
- 腎臓(失禁)休養指導
- 在宅看護指導の指導(スロープ、手すり、簡易トイレ)
- 老人施設利用をすすめた(ショート・ステイ、デイサービス)
- 行政への相談をすすめた
- 前立腺肥大症、前立腺癌について説明した
- バイグラについて説明した



埼玉県泌尿器科医会ニュース第5号 (おしっこの日特集号)

会長: 松本 泰
副会長: 宮村隆三
田利清信
幹事: 石井泰憲
新井伸夫
楠山弘之
監事: 横岸壮治
木戸 晃

* お知らせ *

埼玉県泌尿器科医会では、医会ニュースの原稿を募集しています。研究会報告や告知短など原稿の地、面白いことや発表したいことなどございましたら、事務局までご連絡ください。

T 336-0007 浦和市仲町3-5-1 (埼玉県医師会地域医療課) 埼玉県泌尿器科医会事務局
TEL 048-824-2611
FAX 048-822-8515 (事務局)

埼玉県泌尿器科 医師会ニュース



第8号 2004年10月発行
 発行人：宮村隆三
 編集人：石井泰憲
 横山弘之
 発行所：さいたま市浦和区仲町3-5-1
 (埼玉医師会内)
 埼玉県泌尿器科医会
 TEL 048-824-2611
 FAX 048-822-8515

会長挨拶

埼玉県泌尿器科医会 会長 宮村 隆三

会員の皆様には、埼玉県泌尿器科医会の事業遂行にあたり、多大なご協力をいただき、感謝申し上げます。お蔭様で、各種研究会、セミナー、市民公開講座等々、活発に行われています。

さて、皆様ご承知のように、日本人の平均寿命がますます延びて居ります。厚生労働省の統計では、平成14年度では男性78.32年、女性85.23年になったそうです。さらに推計によると2025年には、男性83.85年、女性89.44年とのこと。

定年後の第2、第3の人生設計をしておく必要があるようです。平均寿命が延びる事を喜んでばかりもいられません。年齢別の人口構成をみると、65歳以上の割合が平成14年で18.5%となっており、推計では、平成42年には29.6%と3人に1人は65歳以上の人が占めることとなります。さらに、オールドオールドと言われる75歳以上の高齢者の65歳以上人口に占める割合が、2000年で39.9%から2025年で59.6%となり、「高齢者の高齢化」がさらに進み、要介護人口の増加が介護負担の増大につながるわけ。

このような状況のなか、小泉純一郎首相による「医療改革」が進められようとしています。株式会社による病院開設の容認、混合診療の解禁、薬の緩和規制、等々、どれをとっても大きな問題を抱えています。

以上、まとまりのない話をしましたが、今後も埼玉県泌尿器科医会にご支援、ご協力をお願いし、挨拶といたします。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第8号

報告 第5回埼玉県尿路癌性腫瘍研究会学術講演会
 平成15年9月19日(金)午後7時30分～
 浦和ロイヤルバインズホテル4F「ロイヤルプリンス」
 『職業性膀胱癌の分子疫学的研究』
 講師：和歌山県立医科大学 泌尿器科教授 新家俊明

*参加者数：21人
 *日本泌尿器科学会研修単位(3単位)、日医生涯教育講座(5単位)参加証をお出しいたしました。

報告 第11回県民おしこの日
 平成15年9月21日(日)午前11時～
 埼玉県立川越福祉センター
 【無料相談コーナー、ビデオ放映、パネル展示、在宅介護体験コーナー、ほか】
 講演 『尿もれと上手に付き合う方法』
 講師：埼玉医科大学総合医療センター訪問看護サービス管理者・介護支援センター管理者・在宅介護支援センター管理者 山田征子

報告 『よくわかる頻尿・尿失禁』
 講師：埼玉医科大学総合医療センター泌尿器科教授 山田拓己

報告 埼玉県泌尿器科医会学術講演会
 ～尿路結石症診療ガイドラインの概要～
 平成15年10月17日(金)
 パレスホテル大宮3F テレールーム
 『尿路結石治療について』講師：杏林大学泌尿器科助教授 坂田原久雄
 『尿路結石予防について』講師：帝京大学市原病院教授 正井 基之
 『尿路結石の食事指導について』講師：市立貝塚病院副院長 井口 正典

*参加者数：99人
 *日本泌尿器科学会研修単位(3単位)、日医生涯教育講座(5単位)参加証をお出しいたしました。

報告 第1回埼玉県泌尿器感染症研究会
 平成15年11月12日(水)午後7時～
 パレスホテル大宮4階アイリス
 アンケート報告『2002年度 埼玉県STD実態調査の集計結果について』
 講演 『埼玉医科大学における院内感染対策の実践』
 講師：埼玉医科大学感染症科・感染制御科教授 前崎 繁文

*参加者数：27人
 *日本泌尿器科学会研修単位(3単位)、日医生涯教育講座(5単位)参加証をお出しいたしました。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第8号

報告 第6回埼玉老年泌尿器科研究会
 平成16年7月17日(土)午後3時～
 大宮ソニックシティ4F市民ホール
 1. 開会の辞：第5回世話人埼玉医科大学附属病院 出口修宏
 2. 一般演題I(4題)
 3. 一般演題II(4題)
 4. 一般演題III(3題)
 5. 一般演題IV(2題)
 6. 代表世話人挨拶：埼玉社会保険病院 石井泰憲
 7. 特別講演I『通活動膀胱について』講師：信州大学泌尿器科学 助教授 石塚 修
 特別講演II『女性器下垂・脱における外科的治療と排尿障害』
 講師：防衛医科大学校産婦人科学 講師 古谷健一
 8. 閉会の辞：埼玉県泌尿器科医会長 宮村隆三

*参加者数：142人(医師50、看護婦・准看護婦・医療関係92)
 *日本泌尿器科学会研修単位(3単位)、日医生涯教育講座(5単位)参加証をお出しいたしました。参加費1,000円いただきました。

報告 ED治療最新の知見 学術講演会
 平成16年7月30日(金)午後7時～
 パレスホテル大宮3Fテレールーム
 特別講演I『PDE5阻害薬-軌跡と将来展望-』
 講師：北海道大学医学部 泌尿器科 講師 佐久間一郎
 特別講演II『男性機能の回復はOJしに寄与するか?』
 講師：昭和大学医学部 泌尿器科 助教授 佐々木春明

*参加者数：37人
 *日本泌尿器科学会研修単位(3単位)をお出しいたしました。

報告 第6回埼玉県尿路癌性腫瘍研究会学術講演会
 平成16年9月10日(金)午後7時30分～
 浦和ロイヤルバインズホテル4F「ロイヤルプリンス」
 『腎癌のRF療法について』
 講師：防衛医科大学校病院 泌尿器科講座 教授 早川正道

*参加者数：27人
 *日本泌尿器科学会研修単位(3単位)、日医生涯教育講座(5単位)参加証をお出しいたしました。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第8号

独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院 泌尿器科
 院長 吉村 一良(いちろう)

まず、2004年4月1日に国立病院・療養所の独立行政法人化に伴って名称が上記のように変更になったことをご報告します。埼玉病院泌尿器科は長らく常勤二人体制でやってきましたが、昨年6月より待望の3人目の医師井手広樹が派遣され診療体制の充実が図られました。その後7月に樋口明男(防衛医大転任)にかりり山直樹が東京医大より、10月に前院長の内田厚(慶応大学転任)に代わり吉村一良が防衛医大よりそれぞれ赴任しました。本年6月には井手(順天看護センター転任)に代わり森田伸也が済生会中央病院より赴任し、昨年度初めとは陣容が一変しております。なお、元院長の織田孝英先生にも還一度外業を平仮でいただいています。

診療内容ですが、従来と同様尿路癌性腫瘍の診療を中心に行っています。年間的手術件数は120から140件程度です。病院の位置する朝霞地区でのPSA検診に伴って、近年前立腺癌の患者の数が増加しており、昨年1年間では前立腺生検110例、前立腺全摘18例を行っています。2004年になってからも1月から5月までで前立腺生検58例、前立腺全摘18例を行っており、昨年の実績を超えることは達成です。当院には放射線治療も常勤しており、外照射に関しては70Gyは安全に照射できています。

腎臓癌や膀胱癌に関してはこれまでと傾向はさほど変わりはないのですが、腹腔鏡下の腎摘(昨年4例)や、膀胱全摘時の新膀胱増設(昨年2例)など、特に手術に関しては大学並みの医療を提供することを心がけています。

国立病院時代から、人手もさることながら医療機器の購入予算がつかずに新機器導入が遅れがちなため、内視鏡も老朽化するなどいろいろ苦勞しています。特にESWLが設置できていないため、結石の治療に関しては今後最近の医療機関にお願ひすることが多いと思われまふ。よろしくお願ひいたします。独立行政法人化に伴って、もし機器購入の予算がつくようでしたらESWLをはじめ、前立腺癌のBrachytherapy(小線源治療)なども手掛けていきたいと考えています。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第8号

報告 第2回市民公開講座「よくわかる前立腺肥大的お話」
 平成15年11月15日(土)午後2時～
 くすのきホール8F
 司会：入間川病院 泌尿器科 院長 宮田和豊
 講演：『どんな病気?』防衛医科大学校 泌尿器科 講師 辻 明
 『どうすれば判るの?』愛敬会総合病院 泌尿器科 小田島 邦男
 『どうやって治すの?』木戸病院 院長 木戸 晃

報告 第11回埼玉排尿障害セミナー
 平成15年11月20日(木)午後6時30分～
 浦和ロイヤルバインズホテル3Fゴールドルーム
 特別講演『間質性膀胱炎の診断と治療』
 講師：日本赤十字社医療センター泌尿器科部長 本間之夫

*参加者数：28人
 *日本泌尿器科学会研修単位(3単位)、日医生涯教育講座(5単位)参加証をお出しいたしました。

報告 第40回埼玉県医学会総会
 平成16年1月25日(日)午前9時44分～午前11時22分
 県民健康センター1F大会議室C
 *演題数16題
 *日本泌尿器科学会研修単位(3単位)、日医生涯教育講座(5単位)参加証をお出しいたしました。
 *多数のご参加、ありがとうございました。

報告 第8回埼玉前立腺研究会
 平成16年2月20日(金)午後6時45分～
 パレスホテル大宮 3Fテレールーム
 一般演題：2題
 特別講演：『前立腺肥大症と膀胱機能』
 講師：北海道大学大学院医学研究科 腎泌尿器外科学 助教授 柿崎秀宏

*参加者数：53人
 *日本泌尿器科学会研修単位(3単位)、日医生涯教育講座(5単位)参加証をお出しいたしました。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第8号

報告 埼玉県泌尿器科医会学術講演会
 平成16年6月4日(金)午後7時～
 パレスホテル大宮 3Fテレールーム
 講演I『患者側弁護士から見た医療訴訟について』講師：すずかけ法律事務所 鈴木利廣
 講演II『腎癌における最近の治療法』
 講師：筑波大学附属病院泌尿器科助教授 赤産英之

*参加者数：46人
 *日本泌尿器科学会研修単位(3単位)をお出しいたしました。

報告 市民公開講座「よくわかる前立腺がんのお話」
 平成16年6月20日(土)午後2時～4時
 春日部市中央公民館
 司会：幸手総合病院 院長 井坂茂夫
 講演：『どんな病気?』幸手総合病院泌尿器科部長 湯浅謙治
 『どうすれば判るの?』春日部中央総合病院泌尿器科部長 柳澤良三
 『どうやって治すの?』春日部市立病院医療部長 堀内 晋

報告 平成16年度埼玉県泌尿器科医会定例総会並びに学術集會
 平成16年7月15日(木)午後6時30分～
 浦和ロイヤルバインズホテル3F「ゴールド」
 開会の挨拶：埼玉県泌尿器科医会副会長 石井泰憲
 1. 総会
 (1) 開会の辞
 (2) 会長挨拶
 (3) 議事 ①平成15年度事業報告について……………了承
 ②平成15年度収支決算に關し議決を求めん……………議決
 ③役員改選について……………議決
 ④平成16年度事業計画(案)に關し議決を求めん……………議決
 ⑤平成16年度収支決算(案)に關し議決を求めん……………議決
 2. 特別講演I『前立腺癌におけるPSA関連マーカーの臨床的意義とその応用』
 講師：慶應義塾大学 泌尿器科 講師 中島 洋
 3. 特別講演II『前立腺癌の小線源治療』
 講師：埼玉医科大学 放射線医学 教授 土器屋 卓志

閉会の挨拶：埼玉県泌尿器科医会会長 宮村隆三

*参加者数：47人
 *日本泌尿器科学会研修単位(3単位)、日医生涯教育講座(5単位)参加証をお出しいたしました。参加費2000円をいただきました。

埼玉県泌尿器科医会ニュース第8号

イチローの年間最多安打や、オリンピック、パラリンピックのメダル獲得数などいろいろな記録が塗り替えられました。皆様の地域も前立腺検診の普及により前立腺癌の発見数が増えつつあるのではないのでしょうか。去る9月26日に第12回おしこの日も、無事終了しました。関係者の皆様本場にお疲れ様でした。来年はいよいよ所沢～開成線開通を祈ります。また、よろしくお願ひいたします。埼玉県医師会も国内の前立腺検診を担っています。日本医師会に全国都道府県医師会館の整備情報が載っていますが、埼玉県医師会館は現存可能な最後の4県に残っているそうです。日本医師会ホームページの会員談話室で話になっていきます。さて、どうなりますことやら。

(横山弘之)

埼玉県泌尿器科医会ニュース第8号

☀️ お知らせ ☀️

埼玉県泌尿器科医会では、医会ニュースの原稿を募集しています。
 研究会報告や告知板などの原稿の他、発表したいことや、趣味について、旅行記など何でも結構です。事務局まで原稿をお寄せください。

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町3-5-1
 (埼玉医師会地域医療課)
 埼玉県泌尿器科医会事務局
 TEL 048-824-2611
 FAX 048-822-8515
 E-mail chiki@office.saitama.med.or.jp



県民おしっこの日

開催日時・会場

1回	平成5年9月15日	大宮そごう 特別室ダリアホール
2回	平成6年9月15日	大宮そごう 特別室ダリアホール
3回	平成7年9月15日	大宮そごう 特別室ダリアホール
4回	平成8年9月15日	大宮そごう 特別室ダリアホール
5回	平成9年9月15日	大宮そごう 特別室ダリアホール
6回	平成10年9月15日	川口市総合文化センター リリア 展示ホール
7回	平成11年9月15日	川口市総合文化センター リリア 展示ホール
8回	平成12年9月15日	川口市総合文化センター リリア 展示ホール
9回	平成13年9月16日	越谷コミュニティーセンター 小ホール
10回	平成14年9月	越谷コミュニティーセンター 小ホール
11回	平成15年9月	埼玉県川越福祉センター
12回	平成16年9月26日	川越市市民会館中ホール (やまぶき会館)
13回	平成17年9月11日	所沢市民文化センター ミューズ
14回	平成18年9月24日	所沢市民文化センター ミューズ



寸劇シナリオ

失禁家族

(川口家の場合)

原作・脚本 山崎利彦

出演者

川口 伍介・・・おじいちゃん。脳梗塞後のパーキンソンズムで神経因性膀胱。
 川口 志津・・・おばあちゃん。老人性痴呆による失禁。
 川口 武司・・・おとうさん。前立腺肥大による溢流性失禁。
 川口 福子・・・おかあさん。腹圧性尿失禁。
 川口 健太・・・子供。遺尿症。
 大宮 恭子・・・保険外交員。



第一場・・・川口家の門前

大宮 恭子登場。スーツ姿で客席に話かける。

恭子「まあ本日はお暑い処よくいらっしやいました。ところで皆様、保険等はどうなさってます？何でも近々年金も満身に貰えなくなるって噂ですよ。自分だけは何時までも健康だなんて、ま、気持ちは判りますけど、最近は何が起こるか判りませんから。そんな疋かの時に当社の保険はピッタリですよ。本日はここ、川口様の御宅に御邪魔させて頂いて、当社の保険を御勧めしてみたいとおもいます。いえいえ、こんな休日の朝だからこそ、御家族御揃いで丁度よろしいんで御座居ますのよ。玄関はこちらかしら・・・。」

玄関から突然飛び出してくる健太。

思わず飛び退く恭子。

下手から

■ 健太「ワーン、母ちゃん、ごめんよお！もおしないよお。」

健太を追って出てくる福子。

下手から

■ 福子「全くこの子は！何回言わせれば気が済むんだい！
小学校に上がってまでオネショするなんて、母ちゃん
恥ずかしいよ、全く！」

福子、健太の尻を叩く。

■ 健太「御免なさい！御免なさい！」

上手へ

健太、福子を振り払い退場。

■ 福子「全く幾ら洗濯しても間に合いやしない。
これも美しく生まれてしまった者の定めね。
何て言ってる間に御洗濯しましょ。」

下手へ

福子、玄関の中に退場。

物陰から顔を出す恭子、玄関の方を覗き込む。

■ 恭子「オネショねえ。やけに老けた小学生だったけど、
幾つなのかしら……。
ま、いいわ。先ずはご挨拶を……。」

恭子、呼び鈴を鳴らしながら戸を開ける。

■ 恭子「御免下さいませ。」

玄関から志津登場。

■ 志津「あ？」

■ 恭子「まあ、おばあちゃま、今日は。」

■ 志津「あ？」

■ 恭子「……………おばあちゃま、今日は。」

■ 志津「あ？」

■ 恭子「あの、オクサマ奥様、今日は。」

■ 志津「ああ、ああ、何じゃい？先ずは御上がりなさいな。」

■ 恭子「恐縮です。実はですね、おばあちゃま……。」

恭子、家に靴を履いたまま上がろうとする。

志津、恭子をキッと睨む。

■ 恭子「あ？あ、失礼しました、オクサマ奥様……？」

■ 志津「そうじゃなくて！」

志津、恭子の足元を指差す。

■ 恭子「あ？あ、失礼しました、家、洋式な物ですから。」

恭子、靴を脱いで家に入る。

■ 恭子「で、あの、おばあちゃ、じゃなくオクサマ奥様、
本日伺いましたのは、その、何と申しましょうか、
こう申しますと本当に失礼に当たりますのは
承知の上で敢えて申しますと……。」

志津、話はまるで聞こうともせず土間に降り、

着衣を捲り、用を足そうとし始める。

目線をあわせる

恭子、振り返り、志津の様子を見て飛びつく。

■ 恭子「キャーッ、あたしの買ったばかりの靴！！」

■ 志津「靴？こりゃ便器じゃよ。」

恭子、自分の靴をしげしげと眺める。

■ 恭子「確かに、似てる、じゃなくて、これは……。」

奥から福子登場

■ 福子「まあ、まあ、おばあちゃま、どうなさったの？
あら、御客様？ああ、同窓会の方？」

■ 恭子「そうじゃなくって、私は……。」

奥から伍介の呼ぶ声

■ 伍介「フォーイ、ヒョウホハン、ヒョウホオ！」

■ 福子「あら、おじいちゃん、（恭子に）一寸失礼。」

下手へ

恭子、福子を追おうとして振り向く。

再び用を足そうとしている志津と目が合う。

慌ててもう一方の靴も抱え、横のスリッパを渡す。

■ 恭子「ほら、こっちの方が似てる。
（福子の方を追って）
あの、奥様、置いて行かないでえ！」

下手へ

■

第二場……伍介の部屋

振戦を呈しながら寝ている伍介

■ 伍介「ヒョウホファアン、ヒョウホオ。」

福子、恭子と共に登場。

■ 福子「はいはい、おじいちゃん、どうしたのかしら？」

恭子、ここぞとばかりに顔を出す

■ 恭子「まあ、寝たきりでいらしゃるんですか。
（肩ごし）さぞや大変でいらっしゃるでしょうねえ。」

福子、伍介の股間に手を入れる。

■ 福子「あら、おじいちゃん、又漏らしちゃたのねえ。」
はいはい、オムツを替えましょうねえ。」

■ 恭子「私、御手伝い致しますわ。」

手伝おうと一緒に布団に手を入れる恭子。

■ 福子「あ、そこ押しちゃうと……。」

■ 伍介「フフオフヨー。」

■ 恭子「キャー。」

恭子、思わず飛び退く。

■ 福子「まあまあ、おじいちゃん、又漏れちゃったのね。
（恭子に）御免なさいね、一寸御腹押すと直ぐに漏れちゃうのよ。」

武司登場。

■ 武司「おいおい、何だよ騒々しい、休日の朝っばらから。」

■ 恭子「（気を取り直して手を出す）あ、始めまして、私、大宮 恭子と申します。」

武司、恭子と握手しようと手を出す。

■ 武司「始めまして、ウワァ！」

武司、手を引っ込め、怪訝そうにその手を見つめ、臭いを嗅ぐ。

■ 恭子「あ、御免なさい（自分の手をハンカチで拭く）。」

■ 福子「あなた、昨日は大分御飲みになったみたいだけど大丈夫？」

■ 武司「（ズボンで手を拭きながら）それがね、何だか又近くなっちゃて……。」

武司の背後から健太がこっそり近づく。

■ 健太「（武司に目隠しをする）だあれだ！」

■ 武司「（健太の手を探って）ん？この小さい手は、うーん、判んなあい。」

大袈裟に振り向く武司。

■ 武司「ああ、健太君だ！」

大袈裟に驚いて見せる武司。

リアクションの後で顔をしかめ、股間をおさえる。

■ 武司「あ、ヤベ、て、て……。」

股間を抑えながら武司退場。

■ 福子「全くもお、おとうさんまで洗濯物を増やして！」

■ 恭子「へ？」

■ 福子「（恭子に）一寸済みません、身体持ち上げるの、手伝って頂けます？」

■ 恭子「あ、はいはい。」

恭子と福子、伍介の身体を持ち上げる。

■ 福子「さんはい、あ……。」

福子、顔をしかめ、内股になる。

■ 恭子「あの、まさか……。」

■ 福子「あ、オホホホホ。」

福子、股間を抑えながら内股で退場。

■ 恭子「（健太に）ねえ、坊や、御手洗い、どちら？」

■ 健太「え？ウチにそんなのあったかなあ。」

■ 志津「（スリッパを取り出す）ほれ、これ使いな。」

チャンチャン



市民公開講座

よくわかる前立腺がんのお話

開催一覧

第1回	<ul style="list-style-type: none"> 1997年11月24日 開催地：大宮 司会者：春日部市立 根岸 壯治先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：埼玉がんC 東 四雄先生 演者2：自治大宮 戸塚 一彦先生
第2回	<ul style="list-style-type: none"> 1998年5月31日 開催地：熊谷 参加人数：100 司会者：春日部市立 根岸 壯治先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：熊谷総合病院 中津 裕臣先生 演者2：埼玉医大医療C 山田 拓巳先生
第3回	<ul style="list-style-type: none"> 1999年5月30日 開催地：越谷 参加人数：240 司会者：春日部市立 根岸 壯治先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：獨協越谷病院 安田 耕作先生 演者2：越谷市立 諸角 誠人先生 演者3：春日部市立 堀内 晋先生
第4回	<ul style="list-style-type: none"> 2000年5月28日 開催地：所沢 参加人数：145 司会者：小川赤十字 松本 泰先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：西埼玉中央 木戸 晃先生 演者2：入間川 宮田 和豊先生 演者3：防衛大学校 小田島邦男先生
第5回	<ul style="list-style-type: none"> 2001年5月20日 開催地：川越 参加人数：124 司会者：小川赤十字 松本 泰先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：埼玉医大病院 出口 修宏先生 演者2：赤心堂病院 内島 豊先生 演者3：埼玉大医C 山田 拓己先生
第6回	<ul style="list-style-type: none"> 2002年6月15日 開催地：浦和 参加人数：105 司会者：宮村医院 宮村 隆三先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：埼玉社保 石井 泰憲先生 演者2：さいたま市立 増田 毅先生 演者3：川口市医C 賀屋 仁先生
第7回	<ul style="list-style-type: none"> 2003年6月21日 開催地：川口 参加人数：55 司会者：埼玉クリニック 荒 隆一先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：川口市医C 賀屋 仁先生 演者2：戸田中央 近藤 恒徳先生 演者3：済生会川口 奥村 俊子先生
第8回	<ul style="list-style-type: none"> 2004年6月20日 開催地：春日部 参加人数：217 司会者：幸手総合病院 井坂 茂夫先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：幸手総合病院 湯浅 譲二先生 演者2：春日部中央 柳澤 良三先生 演者3：春日部市立 堀内 晋先生

第9回	<ul style="list-style-type: none"> 2005年6月5日 開催地：大宮 参加人数：168 司会者：埼玉がんC 東四雄先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：東大宮総合病院 飯泉 達夫先生 演者2：自治大宮医C 小林 裕先生 演者3：さいたま日赤 野呂 彰先生
第10回	<ul style="list-style-type: none"> 2006年6月18日 開催地：熊谷 参加人数：240 司会者：すみや医院 角谷 秀典先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：熊谷外科病院 五十嵐 宏先生 演者2：熊谷総合病院 阿部 拓先生 演者3：行田総合病院 加藤 裕二先生
第11回	<ul style="list-style-type: none"> 2007年6月23日 開催地：朝霞 参加人数：88 司会者：永弘クリニック 楠山 弘之先生 新座志木中央 栃本 真人先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：菅野病院 濱崎 公久先生 演者2：朝霞台中央 石渡 進先生 演者3：国立埼玉 門間 哲雄先生
第12回	<ul style="list-style-type: none"> 2008年6月1日 開催地：越谷 参加人数：112 司会者：獨協越谷病院 岡田 弘先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：越谷市立病院 磯部 英行先生 演者2：草加市立病院 鎌田 成芳先生 演者3：獨協越谷病院 新井 学先生
第13回	<ul style="list-style-type: none"> 2010年10月24日 開催地：上尾 司会者：上尾中央病院 村松 弘志先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：北里メディカル 田岡 佳憲先生 演者2：上尾中央病院 佐藤 聡先生 演者3：埼玉県央病院 重城 裕先生
第14回	<ul style="list-style-type: none"> 2011年11月13日 開催地：所沢 参加人数：150 司会者：防衛医大 浅野 友彦先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：入間川病院 宮田 和豊先生 演者2：西埼玉中央病院 高橋 英二先生 演者3：防衛医大 伊藤 敬一先生
第15回	<ul style="list-style-type: none"> 2012年10月8日 開催地：久喜 参加人数：244 司会者：久喜総合病院 井坂 茂夫先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：羽生総合病院 小野 昌哉先生 演者2：済生会栗橋病院 小林 裕先生 演者3：久喜総合病院 湯浅 譲治先生
第16回	<ul style="list-style-type: none"> 2013年7月21日 開催地：川口 参加人数：170 司会者：川口市立医療C 賀屋 仁先生 	<ul style="list-style-type: none"> 演者1：済生会川口 龍治 修先生 演者2：川口市立医療C 五十嵐 匠先生

前立腺肥大症市民公開講座

開催一覧

第1回	<ul style="list-style-type: none"> 2002年1月12日 開催地：大宮／大宮ソニックシティ 参加人数：220 司会者：宮村 隆三先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：石井 泰憲先生 梶原 敦子先生 中條 洋先生
第2回	<ul style="list-style-type: none"> 2002年11月16日 開催地：川口／福祉センター青木会館 司会者：荒 隆一先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：賀屋 仁先生 奥村 俊子先生 近藤 恒徳先生
第3回	<ul style="list-style-type: none"> 2003年11月15日 開催地：所沢／くすのきホール 参加人数：300 司会者：宮田 和豊先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：辻 明先生 小田島邦夫先生 木戸 晃先生
第4回	<ul style="list-style-type: none"> 2004年11月28日 開催地：所沢／熊谷市立文化センター 参加人数：200 司会者：角谷 秀典先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：五十嵐 宏先生 西田 篤先生 安原 克彦先生
第5回	<ul style="list-style-type: none"> 2005年11月27日 開催地：春日部／春日部市中央公民館 参加人数：250 司会者：堀内 晋先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：柳澤 良三先生 大村 稔先生 逸見 一之先生
第6回	<ul style="list-style-type: none"> 2006年6月24日 朝霞／朝霞市産業文化センター 参加人数：85 司会者：楠山 弘之先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：濱寄 公久先生 門間 哲雄先生 栃本 真人先生
第7回	<ul style="list-style-type: none"> 2007年11月16日 開催地：浦和／浦和コルソホール 司会者：木戸 晃先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：石井 泰憲先生 中條 洋先生 増田 毅先生
第8回	<ul style="list-style-type: none"> 2008年11月30日 開催地：越谷／サンシティ越谷 司会者：安田 耕作先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：石井 義之先生 鎌田 成芳先生 廣瀬 友信先生
第9回	<ul style="list-style-type: none"> 2009年11月29日 開催地：川口／フレンジア 司会者：賀屋 仁先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：龍治 修先生 徳本 直彦先生 五十嵐 匠先生

第10回	<ul style="list-style-type: none"> 2010年11月21日 開催地：川越／川越南文化会館 参加人数：280 司会者：山田 拓己先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：中嶋 千穂先生 山下 高久先生 矢内原 仁先生
第11回	<ul style="list-style-type: none"> 2011年11月27日 開催地：熊谷／熊谷市立文化センター 参加人数：250 司会者：角谷 秀典先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：西田 篤先生 中嶋 豊先生 阿部 拓先生
第12回	<ul style="list-style-type: none"> 2012年11月18日 開催地：上尾／上尾市文化センター 参加人数：315 司会者：重城 裕先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：加藤 裕二先生 鈴木 隆大先生 佐藤 聡先生
第13回	<ul style="list-style-type: none"> 2013年11月17日 開催地：狭山／狭山市市民会館 参加人数：130 司会者：木戸 晃先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：上床 典康先生 渡邊 晶子先生 宮田 和豊先生
第14回	<ul style="list-style-type: none"> 2014年11月16日 開催地：朝霞／朝霞市産業文化センター 司会者：濱寄 公久先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：池田 直弥先生 門間 哲雄先生 濱野 公成先生
第15回	<ul style="list-style-type: none"> 2015年11月15日 開催地：久喜／三高サロン 参加人数：150 司会者：井坂 茂夫先生 	<ul style="list-style-type: none"> 講演：小林 裕先生 重城 裕先生 加賀 勸家先生



2014年11月16日
市民公開講座「朝霞」ポスター



医学会総会

学術総会

講演一覧

第1回 CE768年3月30日

防衛医科大学校泌尿器科教授
浅野 友彦 先生

『腎細胞癌に対するラジオ波焼療法の現状』

第2回 CE769年4月17日

三重大学 医学研究科腫瘍病態解明学講座 教授
白石 泰三 先生

『前立腺癌病理診断とその標準化』

第3回 CE770年4月26日

埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 教授
上野 宗久 先生

『尿路悪性腫瘍に対するPhotodynamicsの臨床応用』

第4回 CE771年4月5日

昭和大学 名誉教授
吉田 英機 先生

『22年度保険改定について』

第5回 CE772年4月15日

千葉県がんセンター 前立腺センター・泌尿器科 部長
植田 健 先生

『千葉県がんセンターにおける地域連携パスの取り組み』

第6回 CE773年4月26日

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 教授
大山 力 先生

『筋層浸潤膀胱癌の治療戦略(術前化学療法、低侵襲膀胱全摘除術、U字回腸新膀胱)』

第7回 CE774年4月12日

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野 准教授
西山 勉 先生

『進行性前立腺癌のアンドロゲン環境と今後の治療戦略』

第8回 CE775年4月22日

東京臨海病院 泌尿器科 副院長
斎藤 忠則 先生

『泌尿器科領域保険診療update』

学術総会 (医学会総会)

開催一覧

第23回 CE746年11月16日

会場：県民健康センター

演者氏名	所属(開催時)	演題名
濱田 吉通	朝霞台中央病院	腎癌との鑑別が困難であった対側発育不全腎を伴った腎 oncocytoma の1例
萩原 明	小川赤十字病院	Xanthogranulomatous Pyelonephritisの1例
金親 史尚	春日部市立病院	種々の泌尿器科的合併症を有したPapillomatosisの1例
斎藤 豊彦	朝霞台中央病院	軟結石の1症例
野呂 彰	大宮赤十字病院	Tranilastが原因と考えられた難治性膀胱炎の1例
牛山 武久	国立身体障害者リハセンター	自己導尿法60例の検討
児島 真一	県立がんセンター	巨大睾丸腫瘍の3例
大和田文雄	大宮赤十字病院	当院における睾丸腫瘍の治療成績
金子 昌司	埼玉中央病院	副睾丸垂捻転症の2例
吉田謙一郎	春日部市立病院	CDDP投与にともなう尿中γ-GTP活性の急性変動について
松本 泰	朝霞台中央病院	朝霞台中央病院泌尿器科における9年間の手術統計

第24回 CE747年11月16日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
高橋 卓	埼玉医科大学総合医療センター	85歳以上の超高齢者の人口動態と泌尿器科疾患の統計—埼玉県南部5施設共同研究—
田利 清信	県立がんセンター	昭和51～60年埼玉県内泌尿器科悪性腫瘍統計の推移
加藤 温	埼玉中央病院	副腎腺腫によるCushing症候群の4例
松本 泰	小川赤十字病院	石灰化を伴った腎癌の1例
影山 幸雄	春日部市立病院	尿中NAG及びγ-GTP活性から見た経皮的腎切石による腎障害の検討
山田 拓己	春日部市立病院	経皮的腎尿管切石術の治療成績
濱田 吉通	小川赤十字病院	尿排泄 circadian rhythm から見た夜尿症の診断と治療
辻井 俊彦	県立がんセンター	骨転移をともなった睾丸腫瘍の2例
清水 舜一	朝霞台中央病院	睾丸奇形腫の1例

第25回 CE748年11月5日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
清水 舜一	朝霞台中央総合病院 腎	損傷を契機に発見された交叉性腎転位の1例
松本 泰	小川赤十字病院	気体腎盂尿管像を呈した黄色肉芽腫性腎盂腎炎の1例
小林 信幸	埼玉医科大学総合医療センター	結石による巨大水腎症の1例
影山 幸雄	春日部市立病院	尿管腫瘍の3例
桐山 功	社会保険埼玉中央病院	巨大陰嚢水腫の1例
鈴木 誠	社会保険埼玉中央病院	外尿道口に発生した尖圭コンジローマの1例
藏 尚樹	春日部市立病院	尿中白血球検出法に関する定量的定性的検討
辻井 俊彦	県立がんセンター	悪性腫瘍転移巣に対する局所麻酔下術中照射の試み
山田 拓己	春日部市立病院	進行性前立腺癌に対する油性ブレオマイシンのエコーガイド下局所注入療法
中目 康彦	埼玉医科大学総合医療センター	前立腺肥大症患者における経尿道的前立腺切除術の治療成績
米瀬 淳二	県立がんセンター	膀胱扁平上皮癌の6例
諏訪多順二	埼玉医科大学総合医療センター	移植腎に対するアンギオテンシンⅡの影響について

第26回 平成元年2月19日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
長浜 克志	大宮赤十字病院	多房性腎嚢胞像を呈した腎細胞癌の1例
福庭 雅洋	社会保険埼玉中央病院	腎細胞癌との鑑別が困難であった腎血管筋脂肪腫の1例
吉田 健	春日部秀和病院	ESWL (EDAP LT-01)による治療経験
山田 拓己	春日部市立病院	膀胱腫瘍における経腹的超音波診断法の有用性について
渡辺 徹	春日部市立病院	膀胱瘤に伴う腹圧性尿失禁に対するStamey法の経験
加藤 幹雄	埼玉医科大学	埼玉県毛呂山町における前立腺集団検診
松本 泰	小川赤十字病院	Aztreonam (Azactam®) の血中および前立腺組織内濃度
松本 泰	小川赤十字病院	前立腺疾患の術後感染予防に対するAztreonam (Azactam®) の有効性
辻井 俊彦	埼玉県立がんセンター	拡大リンパ節廓清を施行した進行前立腺癌の3例
藏 尚樹	春日部市立病院	経尿道的前立腺切除術 (TUR-P) 後の排尿状態の尿流量測定による評価
米瀬 淳二	埼玉県立がんセンター	亀頭転移を来した前立腺癌の1例
松本 泰	小川赤十字病院	女子傍尿道平滑筋腫の1例
服部 一紀	社会保険埼玉中央病院	女性傍尿道平滑筋腫の1例
多田 実	埼玉県立小児医療センター	小児精巣腫瘍5症例の臨床的検討

第27回 CE750年10月24日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
上野 宗久	浦和市立病院	巨大脾種による内側への腎偏位の1例
小沢 和紀	埼玉県立がんセンター	馬蹄腎に合併した腎盂上皮内癌の1例
永島弘登志	大宮赤十字病院	本院における偶然発見された腎癌について
高須 秀彦	越谷市立病院	気腫性腎盂炎の1例
福庭 雅洋	社会保険埼玉中央病院	尿管皮膚瘻口の尿管粘膜に転移した胃癌の1例
保母 光俊	埼玉医科大学	埼玉医科大学泌尿器患者過去5年間 (1984~1988年) における尿中分離菌の臨床統計的観察
服部 一紀	社会保険埼玉中央病院	対外衝撃波碎石機 (LT-01) を用いた尿路結石の治療経験
黒川 純	北里研究所メディカルセンター病院	対外衝撃波結石破碎装置 (THERASONICS) 使用による上部尿路結石治療経験
吉田 謙	春日部秀和病院	結石性膿腎症に対し ESWL 治療を行った1例
影山 幸雄	埼玉医科大学	第3世代対外衝撃波結石破碎装置セラソニックによる尿路結石の治療
吉田謙一郎	埼玉医科大学総合医療センター	腎結石症例に対する対外衝撃波 (lithostar) の及ぼす腎尿管障害について—尿中 NAG 活性および β 2-microglobulin 排泄量からみた検討—
渡辺 徹	春日部市立病院	後部尿道膀胱角における超音波断層像とチェーン膀胱造影との比較検討
長浜 克志	国立身体障害者リハビリテーションセンター	失禁のみを主訴とした再発性脳血管障害の1例
荒木 重人	埼玉医科大学	塩酸オキシブチニンの臨床効果
川上 理	春日部市立病院	前立腺癌における超音波診断法の有用性について
大和田文雄	大宮赤十字病院	前立腺癌に対する放射線療法の経験

学術総会（医学会総会）

開催一覧

第27回 CE750年10月24日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
濱田 吉通	小川赤十字病院	acute scrotumを呈したShonlein-Henoch紫斑病の1例
吉田謙一郎	埼玉医科大学	埼玉STD研究会：平成元年4月から6ヶ月間におけるSTDの実態調査についての検討
川上 理	春日部市立病院	春日部市立病院泌尿器科開設後20年間の臨床統計の概要

第28回 CE751年12月3日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
荒木 重人	埼玉医科大学	巨大悪性褐色細胞腫の1例
加瀬 浩史	埼玉医科大学	IFN- α 持続皮下注とVBLが奏功した進行腎癌の1例
塩川 英史	北里研究所メディカルセンター病院	腎嚢胞に合併した腎細胞癌の1例
土井 直人	社会保険埼玉中央病院	脂肪肉腫と鑑別が容易でなかった腎血管筋脂肪腫の1例
川上 理	春日部市立病院	春日部市立病院泌尿器科における腎盂尿管腫瘍の臨床的検討
沼 秀規	春日部秀和病院	上部尿路結石に対するESWLの治療成績
楠山 弘之	永弘クリニック	ESWLを施行したLesch-Nyhan症候群の1例
岩崎 明郎	社会保険埼玉中央病院	巨大尿管症の1例
眞鍋 文雄	社会保険埼玉中央病院	TURを施行した両側尿管瘤の1例
増田 均	春日部市立病院	腹圧性尿失禁患者に伴う尿意切迫症状の膀胱内圧測定検査による検討
堀内 晋	大宮赤十字病院	類白血病反応を呈した膀胱腫瘍の2例

第28回 CE751年12月3日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
佐竹 一郎	県立がんセンター	膀胱全摘および術中照射術後6年目の局所再発に対して再手術で完全寛解を得た浸潤性精巣腫瘍の1例
多田 実	県立小児医療センター	転移性精巣腫瘍の1例
小沢 和紀	県立がんセンター	後部尿道腺癌の1例
小林 裕	戸田中央総合病院	当院におけるSTDの動向
大野 研	埼玉医大総合医療センター	埼玉県泌尿器科STD研究会—平成元年度における地域別診療科別のSTDの違いについて
吉田謙一郎	埼玉医大総合医療センター	埼玉県泌尿器科STD研究会：平成元年度統計

第29回 CE752年11月21日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
朝比奈義仁	戸田中央総合病院	腎動静脈瘻による腎出血に対して超選択的腎動脈塞栓術を施行した1例
永松 秀樹	春日部市立病院	動脈塞栓術を行った腎動静脈奇形の1例
柴田 雄二	北里研究所メディカルセンター病院	Inflammatory aneurysm により水腎症をきたした症例
佐藤 俊和	社保埼玉中央病院	X線陰性結石により腎不全を呈した1例
多田 実	埼玉県立小児医療センター	小児下大静脈後尿管の2例
荒木 重人	埼玉医大	Lapides's cystostomy の臨床的検討
大和田文雄	大宮赤十字病院	膀胱全摘出術後の膀胱癌死亡症例の検討
長浜 克志	春日部市立病院	春日部市立病院における膀胱腫瘍の臨床病理学的統計

第29回 CE752年11月21日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
加瀬 浩史	小川赤十字病院	陰茎 Epidermal cystの1例
金子 昌司	社保埼玉中央病院	細径硬性尿管鏡によるTULの経験
佐竹 一郎	埼玉県立がんセンター	鼠径リンパ節転移を有した女性尿道癌の1治療例
岩崎 明郎	社保埼玉中央病院	尿失禁を呈した女性尿道憩室の1例
村松 弘志	上尾中央総合病院	MRIが術前診断に有用であったacute scrotumの1例
有澤 千鶴	大宮赤十字病院	成人呼吸促迫症候群（ARDS）を呈したstage D2前立腺癌の3例
吉田謙一郎	埼玉医大総合医療センター	前立腺癌に対する根治的前立腺全摘術の経験
増田 均	春日部市立病院	根治的前立腺全摘除術前後における排尿機能の検討
佐竹 一郎	埼玉県立がんセンター	前立腺癌に対する選択的かつ限定的な骨盤リンパ節廓清術について
内島 豊	埼玉医大総合医療センター	平成2年度におけるSTDの現状とその診断基準について

第30回 CE753年11月30日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
塚本 定	埼玉中央病院	腎血管筋脂肪腫自然破裂に対する動脈塞栓療法 of 1例
永松 秀樹	春日部市立病院	腎細胞癌術後に合併した胸壁神経鞘腫の1例
土井 直人	埼玉中央病院	ムチン産生性腎盂腺癌の1例
増田 均	春日部市立病院	骨盤内悪性腫瘍による腎後性腎不全に対する経皮的腎瘻術及び尿管ステント留置術の検討

第30回 CE753年11月30日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
渡辺 徹	埼玉医科大学	レーザー結石破砕装置（MDL-2000）による経尿道的尿管結石破砕術の治療経験
中込 一彰	埼玉県立がんセンター	保存的に治療した尿管結石による自然腎盂外溢流の1例
志村 哲	北里研究所メディカルセンター	診断に難渋した上部尿路腫瘍の2例
有澤 千鶴	大宮赤十字病院	間質性膀胱炎4例の検討
鈴木 高穂	埼玉中央病院	環状切除術後陰茎腫瘍となり陰茎皮膚欠損をきたした1例
加瀬 浩史	小川赤十字病院	陰嚢部 Keratoacanthomaの1例
藤井 靖久	大宮赤十字病院	血清CEAが高値を示した前立腺癌の2例
佐竹 一郎	埼玉県立がんセンター	性腺外原発胚細胞腫瘍の1治療例
徳本 直彦	戸田中央総合病院	閉塞性動脈硬化症におけるMRアンギオグラフィのスクリーニングとしての臨床的有用性について
張 濱	埼玉医科大学	Penile Brachial Index (PBI) の臨床評価
石井 泰憲	埼玉中央病院	ビンクリスチン大量投与による副作用について
遠藤 克則	赤心堂病院	鼠径部膀胱ヘルニアの1例

学術総会（医学会総会）

開催一覧

第31回 CE754年11月11日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
塚本 哲郎	春日部市立病院	腎盂腫瘍を疑わせた腎結核の1例
友部 光朗	埼玉中央病院	多房性嚢胞状腎細胞癌の1例
千葉 琢哉	埼玉中央病院	巨大水腎症を呈した馬蹄腎の1例
藤井 靖久	大宮赤十字病院	腎盂腫瘍と鑑別が困難であった腎細胞癌の2例
金子 昌司	埼玉中央病院	経過中2度のショック症状をきたした腎細胞癌の1例
佐竹 一郎	埼玉県立がんセンター	Bellini duct carcinomaの1例
奥野 哲男	大宮赤十字病院	膀胱全摘術後に発症した上部尿路腫瘍の2例
古屋 徹	埼玉中央病院	手術後の帯状疱疹の併発で診断治療に苦慮した1例
長浜 克志	春日部市立病院	超音波ガイド下膀胱頸部吊り上げ術の経験
伊藤 浩紀	小川赤十字病院	真菌球を形成した膀胱真菌症の1例
新井 学	春日部市立病院	膀胱瘤に対する腔前壁形成術の検討
石井 泰憲	埼玉中央病院	膀胱瘤の手術について
加藤 幹雄	埼玉医科大学	慢性前立腺炎例の前立腺液の検討
遠藤 克則	赤心堂病院	塩酸タムスロシン投与による自覚症状の検討

第32回 CE755年12月26日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
古屋 徹	社会保険埼玉中央病院	画像にて診断がついたRenal oncocytomaの1例
荒井 卓	埼玉医科大学	Buschke Loewenstein腫瘍の2例
金子 昌司	社会保険埼玉中央病院	腎摘後11年を経て多臓器転移をきたした腎細胞癌の1例
野呂 彰	大宮赤十字病院	CA19-9高値を示した尿管異所開口の1例
森田 高	社会保険埼玉中央病院	CA19-9高値を示した、水腎症の1例
奥野 哲男	大宮赤十字病院	白血球増多症を伴った膀胱腫瘍の1例
新井 学	春日部市立病院	TypeⅢ腹圧性尿失禁に対し膀胱頸部吊り上げ術(Suburethral Sling法)を施行した1例
岩堀 泰司	埼玉医科大学	M-VAC療法が著効を示した進行性尿路上皮癌の2例
塚本 哲郎	春日部市立病院	Dimethylsulfoxide膀胱内注入が著効した間質性膀胱炎の1例
西野 整一	済生会川口総合病院	前立腺癌の臨床的検討
石井 泰憲	社会保険埼玉中央病院	癌告知の現状と問題点
千葉 浩司	埼玉県立がんセンター	同時性両側性腎細胞癌の2例（一側腎摘、他側腫瘍核出術）

学術総会（医学会総会）

開催一覧

第33回 CE756年11月7日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
塚本 哲郎	春日部市立病院	後腹膜神経節細胞腫の1例
東 四雄	埼玉県立がんセンター	異時性両側腎細胞癌の3例
金子 昌司	社会保険埼玉中央病院	機能的単腎のサンゴ状シスチン結石に対してPNL、溶解療法が奏功した1例
中川 徹	社会保険埼玉中央病院	X線陰性の両側尿管結石により急性腎後性腎不全を来した2症例
右田 敏郎	済生会川口総合病院	多発性嚢包腎に腎盂腫瘍を合併した2例
遠藤 文康	社会保険埼玉中央病院	腎後性腎不全にて発症した左尿管腫瘍、対側卵巢転移の1例
石井淳一郎	北里研究所メディカルセンター病院	二期的手術が有効であった膀胱扁平上皮癌の1例
立川 隆光	社会保険埼玉中央病院	悪性化した尖型コンジローマの1例
諸角 誠人	越谷市立病院	anaplastic seminomaの6例
楠山弘之	永弘クリニック	慢性前立腺炎症候群の臨床的検討
石井 泰憲	社会保険埼玉中央病院	末期癌の訪問看護の現状
内島 豊	赤心堂病院	閉塞性無精子症の臨床的意義

第34回 CE757年12月16日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
松本 信也	社会保険埼玉中央病院	膀胱癌による尿管閉塞のため腎盂破裂を来し腹腔内へ尿流出の見られた1例
清水 朋一	戸田中央総合病院	若年性膀胱移行上皮癌の1例
荒井 卓	小川赤十字病院	停留精巣に合併した精索捻転症の1例
町田 竜也	大宮赤十字病院	ダウン症候群に合併した精巣腫瘍の1例
中 朗	社会保険埼玉中央病院	MRIが局在診断に有用であった陰茎折症の2例
漆原 正泰	春日部市立病院	膀胱癌骨転移例の臨床的検討
長田 浩彦	浦和市立病院	前立腺癌の臨床病理学的検討
山崎 利彦	川口市立医療センター	尿路結石症に対する対外衝撃波碎石術の経験
町田 竜也	大宮赤十字病院	精巣腫瘍44例の臨床的検討
斉藤 一隆	埼玉県立がんセンター	精巣悪性リンパ腫の検討
石井 泰憲	社会保険埼玉中央病院	進行した精巣腫瘍 (Non seminoma) の治療経験
中島 淳	浦和市立病院	排尿障害を起こす薬剤の臨床的検討

学術総会（医学会総会）

開催一覧

第35回 CE758年10月27日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
石井 信行	埼玉医科大学	腎細胞癌で腎部石灰化を認めた2例
堀永 実	浦和市立病院	急性局所性細菌性腎炎の1例
大島 直	戸田中央総合病院	移行上皮癌に対するライナック併用化学療法の有効性
小林 千佳	済生会川口総合病院	陰嚢部腫瘍を併発した尿道異物の1例
斉藤 一隆	埼玉県立がんセンター	末梢血幹細胞移植（PBSCT）を併用した超大量化学療法により完全寛解を得た進行性腺外胚細胞腫瘍の1例
内島 豊	赤心堂病院	SRV negative XX maleの1例
石井 泰憲	社会保険埼玉中央病院	尿管結石の「指圧」治療

第36回 CE759年12月12日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
近藤 恒徳	済生会川口総合病院	頻回のTUR - BTを受けた表在性膀胱癌症例の臨床的検討
弓削 文一	川口市立医療センター	膀胱尿管逆流成人例の臨床的検討
内島 豊	赤心堂病院	精巣生検像98例の臨床的検討

第37回 CE760年11月23日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
末富 崇弘	埼玉社会保険病院	初診時皮下転移を認めた前立腺癌の1例

第36回 CE759年12月12日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
川野 圭三	獨協医科大学越谷病院	後腹膜奇形腫の1例
小川 俊治	埼玉社会保険病院	色素嫌性腎細胞癌（chromophobe cell renal carcinoma）の1例
石井 泰憲	埼玉社会保険病院	血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）による腎不全例での生体腎移植の経験
町田 竜也	春日部市立病院	外陰部腫瘍を呈した異所性尿管瘤の1例
鈴木 正彦	埼玉社会保険病院	外尿道口より脱出した長大な尿管ポリープの1例
白柳 慶之	戸田中央総合病院	限局性腹膜炎を合併した尿管管膿瘍の1例
鈴木 常貴	国立身体障害者リハビリテーションセンター病院	当科におけるTUNA（Trans Urethral Needle Ablation）の評価

第38回 CE761年12月2日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
小川 俊治	埼玉社会保険病院	自然破裂を合併した感染性腎嚢胞の1例
梶原 隆広	埼玉社会保険病院	巨大な出血性後腹膜嚢胞の1例
山田 大介	埼玉社会保険病院	両側精巣上体平滑筋腫の1例
阿部 英行	大宮赤十字病院	IFN療法が著効を示した腎癌肺転移の2例
末富 崇弘	埼玉社会保険病院	尿管ステント留置下にBCG注入療法を施行した右腎盂上皮内癌の1例
福田 博志	埼玉県立がんセンター	進行性精巣腫瘍に対する新規Front line化療（VIP/VB療法）の経験
内島 豊	赤心堂病院	Sertoli cells only症候群について
根岸 壮治	春日部市立病院	尿路感染症症例の尿からの分離菌と薬剤感受性の推移

学術総会（医学会総会）

開催一覧

第39回 CE762年11月14日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
藤田喜一郎	埼玉社会保険病院	化学療法にてリンパ節転移の縮小を認めるも、転移が疑われた肺病変に変化を認めなかった前立腺癌再燃の1例
神戸 尚子	大宮赤十字病院	胃癌術後9年目の再発による水腎症の一例
阿部 英行	大宮赤十字病院	当院における腎保存手術の成績
谷澤 晶子	赤心堂病院	性同一性障害のホルモン療法
根岸 壮治	春日部市立病院	入院症例に投与された注射用抗生剤の使用頻度

第41回 CE764年11月2日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
岡部 格	さいたま赤十字病院	前立腺梗塞の1例
谷澤 晶子	赤心堂病院	TESE, MESA-ICSIの背景因子と治療成績について
山口 剛	埼玉社会保険病院	碎石治療に苦慮した膀胱完全重複腎盂尿管結石の1例
木戸 晃	木戸クリニック	干渉低周波尿失禁治療器ウロマスター®の使用経験
北山 沙知	さいたま赤十字病院	術後急性肺血栓塞栓症をきたした4例
津嶋 伸彦	済生会川口総合病院	指ガイド下前立腺生検 (digital-B) と 超音波ガイド下前立腺生検 (TRUS-B) の比較検討

第40回 CE763年12月21日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
根岸 壮治	春日部市立病院	STD（性行為感染症）の推移と問題点—多剤耐性淋菌感染症の治療—
柚木 隆寛	川口市立医療センター	排便障害を契機に発見されたミューラー管嚢胞の1例
藤田喜一郎	埼玉社会保険病院	腎オンコサイトーマに特徴的な画像所見を呈した嫌色素細胞癌の1例
梶本 俊一	戸田中央総合病院	体外循環を用いて切除した右心房内腫瘍塞栓を伴う腎細胞癌の1例
南里 正之	済生会栗橋病院	済生会栗橋病院における上部尿路結石の治療成績

第42回 CE765年12月18日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
小磯 謙吉	牛村病院	逆流性腎症の発生機序に関する研究
根岸 壮治	春日部市立病院	MRSAに感染した入院患者の検討
金光 泉	戸田中央総合病院	結石による急性腎後性腎不全の3例
角山 邦子	戸田中央総合病院	陰嚢内腫瘍の2例
遠藤 克則	赤心堂病院	メモサーム（前立腺ステント）の使用経験

第43回 CE766年10月15日			会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名	
小磯 謙吉	牛村病院	下部尿路閉塞性疾患の腎機能障害早期診断法の開発に関する研究	
益本憲太郎	戸田中央総合病院	尿管結石に起因した腎盂腎炎から急速に敗血症性ショックをきたした1例	
内島 豊	赤心堂病院	性同一性障害のホルモン治療の副作用	

第44回 CE767年11月30日			会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名	
影山 幸雄	埼玉県立がんセンター	早期前立腺癌に対する密封小線源永久挿入治療の初期経験	
石岡淳一郎	埼玉県立がんセンター	埼玉県立がんセンターにおける、腎細胞癌治療成績	
小磯 謙吉	牛村病院	抗生物質の腎毒性に関する基礎的研究—ライソゾーム酵素を中心に	
内島 豊	赤心堂病院	膀胱に発生したparagangliomaの1例	
内島 豊	赤心堂病院	前立腺癌診断の生検術の意義について	
角山 邦子	戸田中央総合病院	内腸骨動脈グラフトによる血行再建術を施行した生体腎移植8例の検討	

第45回 CE768年11月20日			会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名	
津久井和貴	与野・さいたま赤十字病院	インターフェロン α ・インターロイキン2 (IFN α +IL-2)併用療法にて比較的長期生存が得られた進行腎癌の4例	
吉田 一彦	戸田中央総合病院腎臓病センター	腎盂尿管移行部狭窄症を呈し診断に苦慮した若年性腎盂尿路上皮癌の1例	
井上 雅晴	埼玉県立がんセンター	当院における経直腸的前立腺針生検の検討	

第45回 CE768年11月20日			会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名	
影山 幸雄	埼玉県立がんセンター	限局性前立腺癌に対する密封小線源永久挿入治療の短期成績	
石塚 英司	埼玉社会保険病院	リン酸エストラムスチンナトリウム投与中に発症した間質性肺炎の1例	
森本 裕彦	埼玉社会保険病院	線維腫様精巣周囲炎の1例	
遠藤 克則	赤心堂病院	フルニエ壊疽の1例	
石岡淳一郎	埼玉県立がんセンター	当院における浸潤性膀胱癌の治療成績	

第46回 CE769年11月28日			会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名	
吉田 一彦	戸田中央総合病院腎センター	腎細胞癌術後の多発性小腸転移に対しsorafenib tosylateが著効した1例	
福井 直隆	埼玉県立がんセンター	当科における小径腎癌の臨床的検討	
佐藤 聡	上尾中央総合病院	過活動膀胱症例に対するソリフェナシンの有効性の検討 OABSS, IPSS-QOLスコアによる評価	
竹下 英毅	さいたま赤十字病院	当院における膀胱全摘症例の検討	
多田 実	埼玉県立小児医療センター	腹腔内精巣における鏡視下精巣固定手術	
井上 雅晴	埼玉県立がんセンター	前立腺癌局所診断における経直腸パワードップラーエコーの有用性の検討—前立腺全摘除標本との比較—	
楠山 弘之	永弘クリニック	当クリニックにおける前立腺生検例の検討	
影山 幸雄	埼玉県立がんセンター	80歳以上で診断された高齢前立腺癌患者の臨床像	

学術総会（医学会総会）

開催一覧

第47回 CE770年11月9日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
佐藤 聡	上尾中央総合病院	褐色細胞腫の臨床的検討
小川 一栄	上尾中央総合病院	常染色体優性多発性嚢胞腎に合併した両側腎癌の一例
戸田 直裕	戸田中央総合病院	生体腎移植後移植尿管結石により急性腎不全となった一例
森山 真吾	さいたま赤十字病院	当院における限局性腎癌の臨床的検討
井上 雅晴	埼玉県立がんセンター	当院における上部尿路腫瘍の治療成績
福井 直隆	埼玉県立がんセンター	当科における転移性尿路上皮悪性腫瘍に対する化学療法の現状
石井 泰憲	石井クリニック	通勤途中の頻尿で困っている症例に対する短時間作用型抗コリン剤の有用性の検討
影山 幸雄	埼玉県立がんセンター	Stage C前立腺癌に対する内分泌療法併用放射線治療(3D-CRT)の成績
安水 洋太	さいたま市立病院	経尿道的前立腺核出術(TUEB)導入初期1年間の治療経験
多田 実	埼玉県立小児医療センター	小児精索静脈瘤における治療方針と腹腔鏡下手術
小堀 善友	獨協医科大学越谷病院	非閉塞性無精子症に対するMD-TESEの現状

第48回 CE771年11月15日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
早川 希	戸田中央総合病院	当院における献腎移植の1例
武信 康弘	川口市立医療センター	当センターにおける経尿道的尿管碎石術(TUL)の臨床的検討
河野 友亮	埼玉県立がんセンター	当院における局所進行性上部尿路上皮癌の治療成績
星野 桂	さいたま市立病院	当院における骨盤臓器脱メッシュ手術(TVM手術)の治療成績
佐藤 聡	上尾中央総合病院	男性過活動膀胱症例に対する抗コリン剤の有効性の検討
黄 鼎文	埼玉県立がんセンター	当施設における膀胱癌に対するMMC膀胱内注入の短期治療成績
影山 幸雄	埼玉県立がんセンター	当センターにおける限局性前立腺癌、密封小線源永久挿入治療導入後4年間の成績
森山 真吾	さいたま赤十字病院	前立腺癌診断におけるMRIの有用性についての検討
石井 泰憲	石井クリニック	デュタステリドの併用療法でのMRI画像における前立腺容積縮小効果の検討
力石 浩介	戸田中央総合病院	Primary epididymal adenomatoid tumor の一例
多田 実	埼玉県立小児医療センター	鏡視下性腺摘徐を行ったDSD(性分化異常症)について
福井 直隆	埼玉県立がんセンター	当科における性腺外原胚細胞腫瘍(EGGCT)の治療成績

第49回 CE772年10月27日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
溝口 翔悟	戸田中央総合病院	CMVlgG抗体陽性ドナーから陰性レシピエントへの生体腎移植の1例
河野 友亮	埼玉県立がんセンター	転移性腎癌に対しテムシロリムスによる治療を行い重症肺感染症で死亡した1例
石井 泰憲	石井クリニック	肛門鏡を有効利用した前立腺生検術について
伊藤祐二郎	さいたま市立病院	当院における前立腺肥大症に対するTURP・TUEBの治療成績の検討
小川 一栄	上尾中央総合病院	当院における経尿道的前立腺レーザー核出術 (Holmium laser enucleation of the prostate, HoLEP) の初期治療経験
徳本 直彦	戸田中央総合病院	当院におけるラパロ前立腺全摘術 (Lap-P) 41例の検討
福井 直隆	埼玉県立がんセンター	当院における神経温存前立腺全摘の治療成績
多田 実	埼玉県立小児医療センター	停留精巣術後の再挙上精巣に対する手術経験
平澤 陽介	さいたま市立病院	当院での骨盤臓器脱に対するTVM手術の検討
影山 幸雄	埼玉県立がんセンター	当センターにおける術中輸血回避の実績

第50回 CE773年12月14日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
石井 泰憲	石井クリニック	尿道カテーテル留置の課題
斉藤 博友	愛クリニック	全身性IgG4関連疾患 (SIPS) と糖尿病に合併した前立腺炎の1例
岡野 由典	三愛病院	気腫性膀胱炎の1例
古屋 武史	埼玉県立小児医療センター	潜在性膀胱尿管逆流症 (Occult VUR) に対する治療戦略
本郷 周	さいたま市立病院	外科的ドレナージ術を施行した結石性腎盂腎炎患者の臨床的背景
太田 茂之	獨協医科大学越谷病院	無精子症に合併したLeydig cell tumorで精巣保存を行った3例
影山 幸雄	埼玉県立がんセンター	膀胱上皮内癌に対する抗癌剤維持膀胱注療法を試み
河野 友亮	埼玉県立がんセンター	前立腺全摘術後に発症した上部尿路上皮癌の3例
福井 直隆	埼玉県立がんセンター	当科における腎癌脳転移症例の検討
五十嵐 匠	川口市立医療センター	当院における腹腔鏡下前立腺全摘除術の初期導入例の臨床的検討
羽田 圭祐	戸田中央総合病院	当院における腹腔鏡下前立腺全摘除術の経験

学術総会（医学会総会）

開催一覧

第51回 CE774年12月23日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
香川 誠	さいたま赤十字病院	当院における骨盤臓器脱に対するTVM手術の検討
大野 博	川口市立医療センター	当院における上部尿路結石に対する経尿道的尿路結石破碎術（TUL）の検討
飯泉達夫	東大宮総合病院	当院における、上部尿路結石に対する体外衝撃波結石破碎の臨床的検討
岡野 由典	(医) 社団松弘会三愛病院	Dual-energy CTにてヒストグラム解析した尿路結石成分と実成分との比較
福井 直隆	埼玉県立がんセンター	当科での進行性胚細胞腫瘍化学療法例に対する制吐対策の評価
影山 幸雄	埼玉県立がんセンター	当センターにおける陰茎癌の治療成績
斉藤 博	(医) 博友会友愛中川クリニック	長期維持透析患者の前立腺がんと前立腺特異抗原（PSA）
鈴木 啓介	獨協医科大学越谷病院	当院におけるヨウ素125密封小線源療法の初期治療経験
丹羽 直也	さいたま市立病院	去勢抵抗性前立腺癌に対する間欠的ドセタキセル療法の治療成績
佐藤 聡	上尾中央総合病院	当院におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術—導入から初期症例の検討
伊藤 和代	戸田中央総合病院	当院におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術導入期手術成績の検討
守屋まりこ (研修医)	国立病院機構埼玉病院	閉塞性肥大型心筋症を有する患者に対する腹腔鏡下腎臓摘出術の1症例
辻 知英 (研修医)	国立病院機構埼玉病院	尿膜管癌との鑑別が困難であった小腸GISTの1例
佐藤 亜耶	埼玉県立小児医療センター	非触知精巣手術を契機に診断された混合型性腺異形成症の1症例
町田静香	川口市立医療センター	新生児精巣捻転の1例
石井 泰憲	(医) 石井クリニック	ヨード造影剤ショックでの心停止・蘇生・重篤な後遺症から学んだ教訓

第52回 CE775年12月3日		会場：県民健康センター
演者氏名	所属(開催時)	演題名
福田 翔平	埼玉県立がんセンター	精巣腫瘍におけるエラストグラフィ使用の経験
秦 由季恵 (研修医)	東大宮総合病院	ピオグリタゾン内服中の糖尿病患者に発見された膀胱癌の2症例
城武 卓	埼玉医科大学国際医療センター	埼玉北部・西部地区の前立腺癌登録に関する多施設共同研究（2008年－2013年）
神田 敏博	埼玉県立がんセンター	連結シード線源を用いた限局前立腺癌に対する永久挿入密封小線源療法の初期成績
影山 幸雄	埼玉県立がんセンター	当院におけるロボット支援前立腺全摘術の初期成績
飯泉 桜 (研修医)	国立病院機構埼玉病院	ドレン抜去部位皮下に再発した腎盂癌の1例
新井 悠一 (研修医)	防衛医科大学校病院	腎細胞癌副鼻腔転移に対しアキシチニブが奏功した1例
斉藤 博	友愛クリニック	慢性腎不全透析例のがん合併は悪性か？：とくに腎がんについて
佐藤 温子	さいたま市立病院	結石性腎盂腎炎に対して、外科的ドレナージ施行する予測因子の検討
堀 祐太郎	埼玉県立小児医療センター	小児尿路結石症に対する尿路内視鏡下治療法の検討
岡野 由典	三愛病院	Dual-energy CTにてヒストグラム解析した尿酸結石2症例と非尿酸結石12例との比較
守屋まりこ (研修医)	国立病院機構埼玉病院	当院で経験した下大静脈後尿管の2例
福井 直隆	埼玉県立がんセンター	TURisシステムを用いた尿路手術後に瘻孔を形成した2例
石井 泰憲	石井クリニック	頻尿で困る時に即効する薬剤を比較検討の結果、ロキソニンが最も優れていた！



研究会報告



1. 設立趣旨（目的）

老年及び泌尿器科疾患に携わる医療保健福祉関係者等の研究の促進、知識の交流及び普及を図ることを目的とする。

2. 代表世話人

石井クリニック 院長 石井 泰憲 先生

3. 活動状況（過去開催履歴は当時の役職）

■ 第1回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成11年7月17日（土）

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 埼玉社会保険病院 石井 泰憲 先生

特別講演

「介護の実態について」

文京区立特別養護老人ホーム 大塚みどりの郷 内田 千恵子 先生

「古くて新しい排泄ケア」

日本コンチネンス協会 代表世話人 西村 かおる 先生

「前立腺肥大症の薬物療法」

福島県立医科大学 講師 横田 崇 先生

■ 第2回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成12年7月15日（土）

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 国立西埼玉中央病院 木戸 晃 先生

特別講演

「医療と家族」

家族看護研究所 渡辺 裕子 先生

「医療と仏教」

普門院診療所 西明寺住職 田中 雅博 先生

■ 第3回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成13年7月28日（土）

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 川口市立医療センター 賀屋 仁 先生

特別講演

「失禁相談及びケアの諸問題」

岡山赤十字病院 泌尿器科部長 大橋 輝久 先生

ウエルカム・カムサポートセンター ETナース 原田 俊子 先生

■ 第4回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成14年7月6日（土）

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 埼玉医科大学総合医療センター 山田 拓己 先生

特別講演

「介護保険の現状と課題」

博瀬会 湯澤医院 院長 湯澤 俊 先生

「高齢者の尿路変更術についてのケア」

埼玉医科大学附属病院 外科外来主任（ETナース） 上村 直子 先生

「高齢者に対する鏡視下小切開泌尿器科手術」

東京医科歯科大学 泌尿器科学教授 木原 和徳 先生

■ 第5回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成15年7月5日（土）

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 埼玉医科大学病院 出口 修宏 先生

特別講演

「膀胱留置カテーテルを必要とする痴呆高齢者の在宅ケア～報恩看護の立場から～」

埼玉医科大学訪問看護ステーション管理者・介護支援専門員 関口 良子 先生

「加齢とED」

慶應義塾大学泌尿器科学 助教授 丸茂 健 先生

■ 第6回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成16年7月17日（土）

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 防衛医科大学校病院 早川 正道 先生

特別講演

「過活動膀胱について」

信州大学医学部 泌尿器科学 助教授 石塚 修 先生

「女性性器下垂・脱における外科的治療と排尿障害」

防衛医科大学校 産婦人科学 講師 古谷 健一 先生

■ 第7回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成17年7月2日（土）

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 越谷市立病院 磯部 英行 先生

特別講演

「排泄ケアに必要なアセスメントとスキル」

コンチネンスジャパン株式会社 梶原 敦子 先生

「ストーマケアこんな時どうする？～合併症やスキントラブル出現時の対処法～」

越谷市立病院 WOC認定看護師 島田 美穂 先生

■ 第8回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成18年7月1日（土）

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 埼玉県中央病院 重城 裕 先生

特別講演

「老人泌尿器科疾患の新しい治療」- 高温度治療の可能性 -

埼玉県中央病院 泌尿器科顧問 小柴 健 先生

「自立支援の取り組み」- オムツはずし拘束廃止を通して -

拘束廃止研究所 所長 田中 とも江 先生

■ 第9回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成19年7月14日(土)

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 さいたま市立病院 増田 毅 先生

特別講演

「終末期医療と「看とり」について」

埼玉社会保険病院 名誉院長 順和会山王病院予防医学センター 鈴木 裕也 先生

「在宅ケアの推進と新たな課題－若手認知症の人と家族の支援を中心に－」

埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科長・教授 野川 とも江 先生

■ 第10回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成20年7月19日(土)

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 永弘クリニック 楠山 弘之 先生

特別講演

「尿失禁の手術療法」

埼玉医科大学総合医療センター 泌尿器科教授 山田 拓己 先生

「排泄ケア 今後のビジョン」

日本コンチネンス協会 WOC認定看護師 高崎 良子 先生

■ 第11回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成21年7月11日(土)

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 さいたま赤十字病院 野呂 彰 先生

特別講演

「明日からできる緩和ケア」

埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 科長 余宮 きのみ 先生

「スピリチュアルペインの促し方」

日本赤十字社医療センター 看護部緩和ケア認証看護師 尾立 和美 先生

■ 第12回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成22年7月10日(土)

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 獨協医科大学越谷病院 岡田 弘 先生

代行 獨協医科大学越谷病院 新井 学 先生

特別講演

「男性性功能障害外来の実績－25年間の経験から－」

中部労災病院 泌尿器科 小谷 俊一 先生

「その方らしくあるために コンチネンスケアを支える失禁パッド(オムツ)～ケアの実践に向けて～」

ユニ・チャームメンリッケ(株)埼玉ディストリクトコーディネーター 小川 和江 先生

■ 第13回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成23年7月23日(土)

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 防衛医科大学校病院 浅野 友彦 先生

特別講演

「高齢者の蓄尿症状に対する治療・ケアの戦略」

独立行政法人国立長寿医療研究センター 泌尿器科 部長 岡村 菊夫 先生

「多職種連携の泌尿器ケア～尿失禁対策と自己導尿指導～」

琉球大学医学部保健学科成人看護学 准教授 大湾 知子 先生

■ 第14回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成24年7月28日(土)

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 済生会川口総合病院 龍治 修 先生

特別講演

「夜間頻尿が高齢者にもたらすこと～長期コホートスタディーの結果から～」

東北大学大学院 医学系研究科 外科病態学講座泌尿器科学分野 准教授 中川 晴夫 先生

「泌尿器科外来における皮膚・排泄ケア認定看護師の役割」

慶應義塾大学病院 看護部 野崎 祥子 先生

■ 第15回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成25年7月27日(土)

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 埼玉県厚生連久喜総合病院 井坂 茂夫 先生

特別講演

「メタボリック症候群と排尿障害」

福井大学医学部 器官制御医学泌尿器科学講座 横山 修 先生

「介護保険制度及び医療と介護の連携について 在宅介護支援センター」

みずほ苑 介護支援専門員 千葉 道子 先生

■ 第16回埼玉老年・泌尿器科研究会

開催日時 平成26年8月2日(土)

開催場所 大宮ソニックシティ

当番世話人 埼玉医科大学 朝倉 博孝 先生

特別講演

「体育－食育からみた排尿障害治療」

獨協医科大学越谷病院 泌尿器科 岡田 弘 先生

「高齢者へのストーマを含めた排尿管理と支援」

埼玉医科大学病院 褥瘡対策管理室 松岡 美木 先生

1. 設立趣旨（目的）

本会は埼玉県における尿路悪性腫瘍の実態把握と基礎的、臨床的調査・研究を行い、尿路悪性腫瘍における診断・治療の向上と地域医療の発展普及をはかることを目的とする。
 尿路悪性腫瘍の調査及び基礎的、臨床的研究、学術集会の開催、その他本会の目的を達成するための必要な事業の開催。
 （以上会則より）

2. 代表世話人

第1回～第15回開催（平成25年9月27日）まで
 埼玉県立がんセンター 東 四雄 先生
 第16回～
 埼玉県立がんセンター 影山 幸雄 先生

3. 活動状況（過去開催履歴は当時の役職）

■ 第1回埼玉県立がんセンター

開催日時 平成11年3月12日
 開催場所 大宮ソニックシティ
 研究会発足、本研究会活動内容、今後の腫瘍統計についての内容、方法、スケジュール等の確認、会則の検討

■ 第2回埼玉県立がんセンター

開催日時 平成12年7月28日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 当番幹事 石井 泰憲 先生
 講演：赤倉 功一郎 先生（千葉大学 講師）
 平成10年埼玉尿路悪性腫瘍統計 38施設、1541症例

■ 第3回埼玉県立がんセンター

開催日時 平成13年9月29日
 開催場所 大宮ソニックシティ
 当番幹事 石井 泰憲 先生
 講演：赤座 英之 先生（筑波大学 教授）
 平成11年埼玉尿路悪性腫瘍統計 40施設、1662症例

■ 第4回埼玉県立がんセンター

開催日時 平成14年9月6日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 当番幹事 賀屋 仁 先生
 講演：東原 英二 先生（杏林大学 教授）
 平成12年埼玉尿路悪性腫瘍統計 48施設、1709症例

■ 第5回埼玉県立がんセンター

開催日時 平成15年9月19日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 当番幹事 井坂 茂夫 先生
 講演：新家 俊明 先生（和歌山県立医大 教授）
 平成13年埼玉尿路悪性腫瘍統計 42施設、1888症例

■ 第6回埼玉県立がんセンター

開催日時 平成16年9月10日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 当番幹事 野呂 彰 先生
 講演：早川 正道 先生（防衛医大 教授）
 平成14年埼玉尿路悪性腫瘍統計 49施設、2195症例

■ 第7回埼玉県立がんセンター

開催日時 平成17年9月9日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 当番幹事 上野 宗久 先生
 講演：堀江 重郎 先生（帝京大学 教授）
 平成15年埼玉尿路悪性腫瘍統計 41施設、2716症例

■ 第8回埼玉県立がんセンター

開催日時 平成18年9月15日
 開催場所 パレスホテル大宮
 当番幹事 小林 裕 先生
 講演：森田 辰男 先生（自治医科大 教授）
 平成16年埼玉尿路悪性腫瘍統計 38施設、2334症例

■ 第9回埼玉県立がんセンター

開催日時 平成19年9月14日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 当番幹事 山田 拓己 先生
 講演：鈴木 啓悦 先生（千葉大学 講師）

■ 第10回埼玉県立がんセンター

開催日時 平成20年10月2日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 当番幹事 諸角 誠人 先生
 講演：富田 善彦 先生（山形大学 教授）

■ 第11回埼玉県立がんセンター

開催日時 平成21年10月9日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 当番幹事 新井 学 先生
 講演：大西 秀樹 先生（埼玉医科大国際医療センター 教授）

■ 第12回埼玉県立がんセンター

開催日時 平成22年10月15日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 当番幹事 住友 誠 先生
 講演：佐々木 康綱 先生（埼玉医科大国際医療センター 教授）

- **第13回埼玉県立がんセンター**
開催日時 平成 23 年 9 月 30 日
開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
当番幹事 小山 政史 先生
講演：吉岡 邦彦 先生（東京医科大学病院）
- **第14回埼玉県立がんセンター**
開催日時 平成 24 年 9 月 28 日
開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
当番幹事 川上 理 先生
講演：高橋 哲 先生（神戸大学医学部附属病院放射線科 准教授）
- **第15回埼玉県立がんセンター**
開催日時 平成 25 年 9 月 27 日
開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
当番幹事 蜂矢 隆彦 先生
講演：武中 篤 先生（鳥取大学医学部附属病院泌尿器科 教授）
- **第16回埼玉県立がんセンター**
開催日時 平成 26 年 9 月 26 日
開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
当番幹事 影山 幸雄 先生
講演：寺地 敏郎 先生（東海大学医学部 外科学系泌尿器科学 教授）

1. 設立趣旨（目的）
本会は泌尿器領域の感染症に関する知識の普及ならびに研究の進歩を促し、相互に研鑽を積むことを目的とする。
2. 代表世話人
獨協医科大学越谷病院 泌尿器科 主任教授 岡田 弘 先生
3. 活動状況（過去開催履歴は当時の役職）
 - **第 1 回埼玉泌尿器感染症研究会**
開催日時 平成 15 年 11 月 12 日（水）19:00～
開催場所 パレスホテル大宮
当番幹事 入間川病院 宮田 和豊 先生
座長 入間川病院 宮田 和豊 先生
『埼玉医科大学における院内感染対策の実際』
埼玉医科大学 感染症科・感染制御科 教授 前崎 繁文 先生
 - **第 2 回埼玉泌尿器感染症研究会**
開催日時 平成 16 年 11 月 26 日（金）19:00～
開催場所 パレスホテル大宮
当番幹事 川口市立医療センター 賀屋 仁 先生
座長 入間川病院 宮田 和豊 先生
『男性尿道炎の診断と治療 ―最近の傾向―』
新宿さくらクリニック 院長 澤村 正之 先生
 - **第 3 回埼玉泌尿器感染症研究会**
開催日時 平成 17 年 11 月 17 日（木）19:00～
開催場所 パレスホテル大宮
当番幹事 埼玉医科大学総合医療センター 渡邊 徹 先生
座長 埼玉医科大学総合医療センター 山田 拓己 先生
『STD啓発の重要性 ―若者へは予防、医家へは適正治療―』
神戸大学医学部附属病院 手術部・感染制御部 部長 荒川 創一 先生
 - **第 4 回埼玉泌尿器感染症研究会**
開催日時 平成 18 年 11 月 30 日（木）19:00～
開催場所 パレスホテル大宮
当番幹事 入間川病院 宮田 和豊 先生
座長 入間川病院 宮田 和豊 先生
『進化する感染対策とその根拠（CDCガイドラインの紹介も含めて）』
県西部浜松医療センター 感染症科 科長 矢野 邦夫 先生
 - **第 5 回埼玉泌尿器感染症研究会**
開催日時 平成 19 年 11 月 30 日（金）19:00～
開催場所 ラフレ埼玉
当番幹事 永弘クリニック 楠山 弘之 先生
座長 入間川病院 宮田 和豊 先生
『尿路性器感染症 - 岡山からの最近の話題 -』
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 泌尿器病態学教授 公文 裕巳 先生

■ 第6回埼玉泌尿器感染症研究会

開催日時 平成20年11月18日(火) 19:00～

開催場所 パレスホテル大宮

当番幹事 済生会川口総合病院 龍治 修 先生

座長 獨協医科大学越谷病院 岡田 弘 先生

『ニューキノロン薬と適正使用』

産業医科大学 泌尿器科学 教授 松本 哲朗 先生

■ 第7回埼玉泌尿器感染症研究会

開催日時 平成21年11月10日(火) 19:00～

開催場所 パレスホテル大宮

当番幹事 獨協医科大学越谷病院 岡田 弘 先生

座長 石井クリニック 石井 泰憲 先生

『わが国における性感染症の現状 -性感染症における抗菌薬の選択-』

東京慈恵会医科大学 感染制御部 教授 小野寺昭一先生

■ 第8回埼玉泌尿器感染症研究会

開催日時 平成22年12月2日(火)

開催場所 大宮ソニックシティ

当番幹事 小川赤十字病院 渡邊 徹 先生

座長 入間川病院 宮田 和豊 先生

『泌尿器科領域における感染症対策』

兵庫医科大学 泌尿器科 主任教授 山本 新吾 先生

■ 第9回埼玉泌尿器感染症研究会

開催日時 平成23年11月10日(木) 19:00～

開催場所 大宮ソニックシティ

当番幹事 埼玉県中央病院 重城 裕 先生

座長 石井クリニック 石井 泰憲 先生 埼玉県中央病院 重城 裕 先生

『ガイドラインでは解らない感染予防対策の基本と実際』

I C H G 研究会代表・京都府立医科大学客員講師 波多江新平 先生

■ 第10回埼玉泌尿器感染症研究会

開催日時 平成24年11月2日(金) 19:00～

開催場所 大宮ソニックシティ

当番幹事 自治医科大学附属さいたま医療センター 小林 裕 先生

座長 入間川病院 宮田 和豊 先生

自治医科大学附属さいたま医療センター 小林 裕 先生

『淋菌感染症の疫学と臨床上の問題点』

岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科 講師 安田 満 先生

■ 第11回埼玉泌尿器感染症研究会

開催日時 平成25年11月22日(金) 19:00～

開催場所 大宮ソニックシティ

当番幹事 埼玉医科大学病院 朝倉 博孝 先生

座長 石井クリニック 石井 泰憲 先生 埼玉医科大学病院 朝倉 博孝 先生

『皮膚から診た性感染症』

東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 皮膚科 教授 本田まりこ 先生

■ 第12回埼玉泌尿器感染症研究会

開催日時 平成26年10月10日(金) 19:00～

開催場所 大宮ソニックシティ

当番幹事 埼玉医科大学病院 朝倉 博孝 先生

座長 入間川病院 宮田 和豊 先生 埼玉医科大学病院 朝倉 博孝 先生

『未定』

東京女子医科大学 東医療センター 耳鼻咽喉科 准教授 余田 敬子 先生

1. 設立趣旨（目的）

埼玉県における前立腺疾患に携わる医療関係者の研究の促進、知識の交流及び普及を図ることを目的とする。

2. 活動状況（過去開催履歴は当時の役職）

■ 第1回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成8年11月29日
 開催場所 パレスホテル大宮
 開催世話人 社会保険埼玉中央病院 石井 泰憲 先生
 一般演題 「BPHの最新レーザー手術」 社会保険埼玉中央病院 金子 昌司 先生
 特別演題 京都府立医科大学 泌尿器科 教授 渡邊 決 先生
 「前立腺癌の集団検診」

■ 第2回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成10年2月6日（金）
 開催場所 パレスホテル大宮
 開催世話人 埼玉県立がんセンター 東 四雄 先生
 特別演題 埼玉県立がんセンター研究所 血清ウイルス部 末岡 榮三郎 先生
 「前立腺癌の予防にむけて」
 埼玉県立がんセンター研究所 生化学部 江口 英孝 先生
 「前立腺癌における遺伝子異常」

■ 第3回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成11年2月10日（水）
 開催場所 パレスホテル大宮
 開催世話人 パレスホテル大宮国立西埼玉中央病院 木戸 晃
 一般演題 「内分泌療法後腫瘍がほとんど消失したstageC前立腺癌の1例」
 済生会川口総合病院 近藤 恒徳 先生
 「内分泌治療再燃進行前立腺癌患者における血中PSA及び
 PSMmRNAのRT-PCR法による検出」
 獨協医科大学越谷病院 北原 聡史 先生
 「前立腺癌に対するMRIの有用性」 済生会栗橋病院 天野 裕之 先生
 特別演題 杏林大学 医学部 病理学教室 教授 古里 征国 先生
 「前立腺病変と組織診断の実際」

■ 第4回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成12年3月10日（金）
 開催場所 パレスホテル大宮
 開催世話人 埼玉医科大学総合医療センター 山田 拓己 先生
 一般演題 「前立腺肥大症の症状と尿流動体との関係」 獨協医大越谷病院 安田 耕作 先生
 「IPSSに代わる前立腺肥大症の尿流動体を反映する症状スコアの開発の試み」
 獨協医大越谷病院 矢野 雅隆
 「1966年から4年間の前立腺肥大手術の統計」 国立西埼玉中央病院 木戸 晃 先生
 「質問票とウロダイナミクススタディーによる前立腺全摘出後の排尿機能評価」
 埼玉医大総合医療センター 一柳 暢孝 先生
 特別演題 原三信会病院 泌尿器科 部長 武井 実根雄 先生
 「前立腺肥大症のウロダイナミクス」

■ 第5回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成13年2月23日（金）
 開催場所 パレスホテル大宮
 開催世話人 川口市立医療センター 賀屋 仁 先生
 一般演題 「当院における過去10年間の前立腺癌の臨床的検討」
 川口市立医療センター 山中 弥太郎 先生
 「前立腺癌に対する術中照射のQOLについて」
 埼玉県立がんセンター 東 四雄 先生
 特別演題 日本大学 医学部 泌尿器科 教授 岡田 清己 先生
 「前立腺癌の診断と治療の推移」

■ 第6回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成14年2月15日（金）
 開催場所 パレスホテル大宮
 開催世話人 春日部市立病院 堀内 晋 先生
 一般演題 「前立腺容積の超音波測定と血中PSA値」 獨協医大越谷病院 古谷 信隆 先生
 「当院における前立腺生検の検討」 春日部市立病院 大村 稔 先生
 「前立腺肥大症のTURP症例と前立腺癌死」 埼玉県立病院 小柴 健 先生
 特別演題 群馬大学 医学部 泌尿器科 講師 黒川 公平 先生
 「前立腺癌ホルモン療法におけるPSAパラメーターおよび機能温存骨盤外科手術について」

■ 第7回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成15年2月21日（金）
 開催場所 大宮サンパレス
 開催世話人 赤心クリニック 内島 豊 先生
 一般演題 「当院における前立腺生検の検討」 春日部市立病院 大村 稔 先生
 特別演題 埼玉県立がんセンター研究所 緩和ケア科 医長 余宮 きのみ 先生
 「がん性疼痛治療の実際」
 癌研究会附属病院 副院長 福井 巖 先生
 「前立腺癌に対する全摘出後PSA failureの治療」

■ 第8回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成16年2月20日（金）
 開催場所 パレスホテル大宮
 開催世話人 獨協医科大学越谷病院 安田 耕作 先生
 一般演題 「前立腺部尿道に発生した乳頭腫の一例」 埼玉県立病院 鈴木 隆大 先生
 「下部尿路閉塞のないWeak Detrusorに対するウブレチドとエブランチルの効果比較」
 獨協医科大学越谷病院 山下 高久 先生
 「前立腺癌に対する高線量率イリジウム組織内照射の治療成績」
 埼玉医科大学 塚本 拓司 先生
 特別演題 北海道大学 医学部 泌尿器科 助教授 柿崎 秀宏 先生
 「前立腺肥大症と膀胱機能」

■ 第9回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成17年2月25日(金)
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 開催世話人 自治医科大学附属大宮医療センター 小林 裕 先生
 一般演題 「神経内分泌マーカーからみた前立腺癌」 自治医科大学附属病院 安士 正裕 先生
 「当院における前立腺全摘除術の経験」
 済生会川口総合病院 龍治 修 先生
 「当科で最近2年間に行った前立腺全摘除例の検討」
 上尾中央総合病院 佐藤 聡 先生
 特別演題 琉球大学 医学部 泌尿器科 助教授 菅谷 公男 先生
 「夜間頻尿の原因と対策」

■ 第10回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成18年2月24日(金)
 開催場所 パレスホテル大宮
 開催世話人 さいたま赤十字病院 野呂 彰 先生
 一般演題 「当院における、最新TUR-P症例の検討」
 獨協医科大学越谷病院 佐藤 両 先生
 「当院における、クリニカルパス(CR)使用の経験-RRPを中心に-」
 さいたま市立病院 増田 毅 先生
 特別演題 国立病院機構 東京医療センター 泌尿器科 医長 斎藤 史郎 先生
 「I-125シード線源永久挿入による前立腺癌治療」

■ 第11回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成19年2月23日(金)
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 開催世話人 春日部市立病院 逸見 一之 先生
 一般演題 「恥骨後式背静脈群結紮先行順行性前立腺全摘除術の安全性」
 春日部市立病院 蜂矢 隆彦 先生
 「川口市立医療センターにおける前立腺生検の臨床的検討」
 川口市立医療センター 五十嵐 匠 先生
 「新しいGleason分類(ISUP2005)に基づいた前立腺病理の再検討」
 草加市立病院 岡田 洋平 先生
 特別演題 東京医科歯科大学 泌尿器科 教授 木原 和徳 先生
 「ミニマム創・内視鏡下前立腺全摘術」

■ 第12回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成20年2月22日(金)
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 開催世話人 さいたま市立病院 増田 毅 先生
 一般演題 「恥骨後式前立腺全摘術の検討」 上尾中央総合病院 佐藤 聡 先生
 「骨盤底筋膜群温存前立腺全摘における勃起機能温存」-片側神経温存の手技と成績-
 埼玉県立がんセンター 影山 幸雄 先生
 特別演題 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学 準教授 賀本 敏行 先生
 「前立腺がんに対する放射線療法(IMRT)～原局性がんからD1まで～」

■ 第13回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成21年2月27日(金)
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 開催世話人 済生会川口総合病院 龍治 修 先生
 一般演題 「前立腺肉腫の1例」 獨協医科大学越谷病院 新井 学 先生
 「アントロゲン除去療法中の前立腺癌症例での骨密度の検討」
 上尾中央総合病院 佐藤 聡 先生
 特別講演 東京医科大学 泌尿器科学講座 準教授 吉岡 邦彦 先生
 「ロボット支援根治的前立腺摘除術(RALP)」

■ 第14回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成22年2月26日(金)
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 開催世話人 さいたま赤十字病院 野呂 彰 先生
 一般演題 「当院におけるHoLEPの治療経験」 獨協医科大学越谷病院 佐藤 両 先生
 「さいたま赤十字病院における前立腺経陰部12ヶ所生検の検討」
 さいたま赤十字病院 森山 真吾 先生
 「前立腺肥大症の夜間頻尿に対するロキソプロフェン(ロキソニン)の追加療法」
 石井クリニック 石井 泰憲 先生
 特別講演 札幌医科大学 名誉教授 熊本 悦明 先生
 「男の生理を認識して欲しい」

■ 第15回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成23年2月25日(金)
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 開催世話人 埼玉県立がんセンター病院 影山 幸雄 先生
 一般演題 「PSA高値で生検陰性患者が使用している、補完代替医療について」
 獨協医科大学越谷病院 教授 岡田 弘 先生
 特別講演 日本医科大学多摩永山病院 泌尿器科 教授 平岡 保紀 先生
 「経尿道的前立腺核出術」
 パネルディスカッション
 「前立腺肥大症の外科治療 Update 2011」
 「前立腺肥大症に対する光選択的前立腺蒸散術(PVP)の治療成績」
 長久保病院 理事長 桑原 勝孝 先生
 「TURP未経験者におけるHoLEP」 聖路加国際病院 遠藤 文康 先生
 「TURisシステムを用いた経尿道的前立腺蒸散術(TURisV)の経験」
 帝京大学泌尿器科 磯谷 周治 先生
 「HoLEP治療経験に基づくTUEBの治療成績」 杏林大学 宍戸 俊英 先生

■ 第16回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成24年3月31日(土)
 開催場所 プリランテ武蔵野ホテル
 開催世話人 埼玉医科大学国際医療センター 教授 上野 宗久 先生
 一般演題 「エビプロスタット配合錠DBの長期使用経験」
 獨協医科大学越谷病院 佐藤 両 先生
 「Sr89の現在・過去・未来」 埼玉医科大学国際医療センター 黒田 功 先生
 特別講演 高知大学医学部 泌尿器科 准教授 井上 啓史 先生
 「光力学技術を用いた対癌新戦略」

■ 第17回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成25年2月22日(金)
 開催場所 パレスホテル大宮
 開催世話人 獨協医科大学越谷病院 教授 岡田 弘 先生
 第1部 「前立腺癌小線源療法最新の動向」
 東京医療センター泌尿器科医長 齊藤 史郎 先生
 「ロボット支援前立腺全摘除術～東京医科大学での経験と成績～」
 東京医科大学泌尿器科学教室教授 吉岡 邦彦 先生
 特別講演 「ロボット支援手術・小線源療法の患者満足度・費用対効果・将来性」
 吉岡 邦彦 先生・齊藤 史郎 先生

■ 第18回埼玉前立腺研究会

開催日時 平成26年2月28日(金)
 開催場所 パレスホテル大宮
 開催世話人 春日部市立病院 部長 蜂矢 隆彦 先生
 第1部 「EDとLUTSのただならぬ関係」 獨協医科大学越谷病院 佐藤 両 先生
 「アボルブ投与下のPSA推移」 埼玉医科大学総合医療センター 川上 理 先生
 特別講演 弘前大学大学院医学研究科泌尿器科学講座 教授 大山 力 先生
 「ロボット手術を利用したハイリスク前立腺がんの治療戦略」

1. 設立趣旨(目的)

埼玉県内の泌尿器科の先生方へ、排尿障害の話題を中心とした講演を賜り、
 県内医療の発展と先生方の交流のために実施しております。

2. 活動状況(科研製薬として記録がある回から記入しております)

■ 第7回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成11年4月23日
 開催場所 大宮パレスホテル
 演者 山口 脩 先生 「頻尿・尿失禁、改善薬の現状と展望」

■ 第8回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成12年10月20日
 開催場所 大宮パレスホテル
 演者 大橋 輝久 「高齢者の排泄管理 - 介護保険導入後の問題点および対策 -」

■ 第9回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成13年10月26日
 開催場所 大宮パレスホテル
 演者 山西 友典 「下部尿路平滑筋におけるムスカリン受容体サブタイプの役割」

■ 第10回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成14年11月21日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 演者 横山 修 「神経因性膀胱、特に蓄尿障害についての考察」

■ 第11回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成15年11月20日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 演者 本間之夫 「間質性膀胱炎の診断と治療」

■ 第12回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成16年11月25日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 演者 井川 靖彦 「高齢男性の過活動膀胱症候群の病態と治療」

■ 第13回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成17年12月1日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 演者 後藤 百万 「高齢者排泄管理と泌尿器科医の役割」

■ 第14回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成18年11月16日
 開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
 演者 安田 耕作 「BPH、予想切除重量の意義
 - PSS、ウロフロパラメーター、QOL等 -」
 後藤 百万 「前立腺肥大症における $\alpha 1$ 遮断薬の有効性」

埼玉排尿障害セミナー（旧 埼玉神経因性膀胱セミナー） 開催一覧

■ 第15回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成19年12月6日
開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
演者 武田 正之 「排尿障害の基礎と臨床 - 過活動膀胱も尿閉もどちらも困る -」

■ 第16回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成21年3月21日
開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
演者 上田 朋宏 「間質性膀胱炎の最近の話題」

■ 第17回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成22年8月5日
開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
演者 増田 均 「前立腺癌と下部尿路症状」

■ 第18回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成23年11月25日
開催場所 浦和ロイヤルパインズホテル
演者 松本 成史 「LUTS & ED: 骨盤内血流との関係」

■ 第19回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成25年3月28日
開催場所 パレスホテル大宮
演者 吉村 耕治 「夜間頻尿～謎多き症状～」

■ 第20回埼玉神経因性膀胱セミナー

開催日時 平成26年3月7日
開催場所 サンパレス大宮
演者 吉川 羊子 「排尿ケアから多職種連携の芯が見える！
-『人材』は『人在』から見つけた『人財』だ-」

北埼玉前立腺癌カンファランス 開催一覧

1. 設立趣旨（目的）

前立腺疾患における病因、病態、治療などの知識を基礎及び臨床両面により討論し、医学の発展と地域に寄与することを目的とする。

2. 代表世話人

埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 小山 政史 先生

3. 活動状況（過去開催履歴は当時の役職）

■ 第1回北埼玉前立腺がんカンファランス

開催日時 平成19年11月15日（木）
開催場所 サンルートホテルガーデンパレス
特別企画 「熊谷市における前立腺がん検診の検討」
熊谷総合病院 泌尿器科 阿部 拓 先生
「埼玉医大国際医療センターにおける放射線療法への考え方」
埼玉医科大学国際医療センター 前立腺センター 講師 黒田 功 先生
「前立腺癌におけるロボット手術の現況」
東京医科大学 泌尿器科 教授 秦野 直 先生

■ 第2回北埼玉前立腺がんカンファランス

開催日時 平成20年3月6日（木）
開催場所 サンルートホテルガーデンパレス
特別企画 「PSA検診-幸手市での3年間の成果-」
幸手総合病院 病院長 井坂 茂夫 先生
「PSA連携プロトコル（の話題）について」
済生会横浜市東部病院 副院長 中島 洋介 先生

■ 第7回北埼玉前立腺がんカンファランス

開催日時 平成22年10月14日（木）
開催場所 サンルートホテルガーデンパレス
特別企画 「前立腺癌登録の現状報告」
埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 講師 小山 政史 先生
「尿流動態検査 Up to date」
埼玉医科大学 泌尿器科 教授 朝倉 博孝 先生

■ 第8回北埼玉前立腺がんカンファランス

開催日時 平成23年6月2日（木）
開催場所 サンルートホテルガーデンパレス
特別企画 「前立腺癌登録の現状報告」
埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 講師 小山 政史 先生
「地域連携パスの取り組み」
埼玉県立がんセンター 泌尿器科 部長 影山 幸雄 先生

■ 第9回北埼玉前立腺がんカンファランス

開催日時 平成24年1月26日(木)

開催場所 坂戸グランドホテルW I N

特別企画 「関越病院泌尿器科におけるP S A検診の現状において」

社会医療法人 関越病院 泌尿器科 松田 香 先生

「P S A検診に関する最近の話題と前立腺がん検診連携パスについて」

かとう泌尿器科クリニック 院長 加藤 裕二 先生

■ 第10回北埼玉前立腺がんカンファランス

開催日時 平成24年7月12日(木)

開催場所 サンルートホテルガーデンパレス

特別企画 「前立腺癌登録の現状報告」

埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 城武 卓 先生

「前立腺全摘除前後の患者アンケートによるQ O Lスコア推移の検討」

熊谷総合病院 泌尿器科 院長 田中 雅彦 先生

■ 第11回北埼玉前立腺がんカンファランス

開催日時 平成25年1月24日(木)

開催場所 坂戸グランドホテルW I N

特別企画 「前立腺がんの切除断端と再発の関係」

埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 助教 坂本 博史 先生

「前立腺がんにおける骨シンチ支援ソフトの応用」

埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 教授 上野 宗久 先生

■ 第12回北埼玉前立腺がんカンファランス

開催日時 平成25年7月25日(木)

開催場所 ホテルガーデンパレス熊谷

特別企画 「前立腺癌登録の現状報告」

埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 助教 城武 卓 先生

「群馬県立がんセンターにおける局所前立腺癌の治療実績」

群馬県立がんセンター 泌尿器科 部長 清水 信明 先生

■ 第13回北埼玉前立腺がんカンファランス

開催日時 平成26年3月27日(木)

開催場所 東松山ホテル 紫雲閣

特別企画 「前立腺癌登録の現状報告とP S A連携について」

～P S A検査と後治療(ホルモン療法・外科的手術)について～

埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 助教 城武 卓 先生

「エビデンスに基づいた血尿の診療」

～血尿診断ガイドライン2013より～

埼玉医科大学 腎臓内科 教授 岡田 浩一 先生

■ 埼玉県泌尿器科医会会則

■ 埼玉県泌尿器科医会歴代会長

埼玉県泌尿器科医会会則

- 第1条 本会は、埼玉県泌尿器科医会と称し、埼玉県医師会に所属する。
- 第2条 本会事務所は、埼玉県医師会内におく。
- 第3条 本会は、埼玉県において泌尿器科診療に従事する医師で、所定の手続きを経て会員となった者をもって構成する。
- 第4条 本会は、次の事業を行う。
(1) 泌尿器科に関する学術の研究ならび統計作成資料の提供
(2) 社会保険診療の調査研究
(3) 会員の相互連絡、親睦
(4) その他目的達成に必要な事項
- 第5条 本会に入会を希望する者は、入会申込書(様式1)に会費を添え、会長に提出するものとする。
2 本会を退会する者は、退会届(様式2)を、会長に提出するものとする。
- 第6条 本会に次の役員を置き、総会において会員の中から選出する。
会長 1人
副会長 2人
幹事 若干名
監事 2人
会長が必要と認めるときは、埼玉県医師会会長が推薦する同会役員1名を幹事に委嘱することができる。
- 第7条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
3 幹事は、会務を分担し、会長・副会長共に事故あるときは予め会長の指名する順位によりその職務を代理する。
4 監事は、会務を監査する。
- 第8条 役員に任期は2年とし、再任を妨げない。
- 第9条 本会に名誉会長、顧問を置くことができる。
2 名誉会長、顧問は、会長が委嘱する。
- 第10条 定例総会は、毎年1回会長がこれを招集し、議長となる。
臨時総会は、会長が必要と認められた場合、又は会員の4分の1以上の要求があったとき、会長が召集し、議長となる。
2 次の事項は、総会の議決又は承認を得なければならない。
(1) 収支予算及び事業計画に関する事項
(2) 収支決算に関する事項
(3) 会則の変更に関する事項
3 次の事項は、総会に報告しなければならない。
(1) 役員会における議決事項
(2) 庶務及び会計報告
(3) 事務報告
- 第11条 総会の議決は、すべて出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第12条 役員会は、会長が招集する。次の事項は、役員会の議決を得なければならない。
(1) 総会に提出すべき事項
(2) 会務執行に関する事項
(3) 会長が特に必要と認める事項
- 第13条 本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもってこれにあてる。
- 第14条 本会の会費は、年額参千円とし、年1回徴収する。
- 第15条 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終る。
- 第16条 総会及び役員会において決定した事項は、埼玉県医師会会長に必要に応じ報告するものとする。

附 則

1. この会則は昭和61年12月25日から施行する。

附 則

1. 平成6年7月17日 一部改正

埼玉県泌尿器科医会歴代会長

- 初代** 清水 舜一
昭和61年11月29日～平成10年3月31日
- 2代** 松本 泰 (マツモト ユタカ)
平成10年4月1日～平成14年3月31日
- 3代** 宮村 隆三
平成14年4月1日～平成18年3月31日
- 4代** 木戸 晃
平成18年4月1日～平成24年3月31日
- 5代** 賀屋 仁
平成24年4月1日～現在

埼玉県泌尿器科医会
30周年記念誌

平成28年7月発行

発行／埼玉県泌尿器科医会
企画・編集／埼玉県泌尿器科医会役員会
デザイン・印刷／(株)サンアロー